

四国

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 地区誌



We Serve

The International Association Of Lions Clubs

1.2.3 No.3
2009.第65巻 平成21年4月1日発行



坂の上の雲ミュージアム

「叡智と勇気・誇りをもって ウィサーズ」 「和の心」



弥生三月、仲春の月であります。

暑さ寒さも彼岸まで、この月も半ばになると南の方から桜前線が上り始めます。春はそこの中にあるよりも、待つ間が楽しいとも言われておりますが、地区内クラブメンバーの皆様にはご健勝にてライオニスム昂揚にご活躍頂き、誠にありがとうございます。

昨年は、アメリカ発の経済恐慌の風が吹き荒れ、世界中がその影響を受け大変な年でありました。年が変わり、2009年1月20日（日本時間では1月21日朝）同じアメリカで世界中が注目する中、過剰なまでの期待を受けて、バラク・オバマ新大統領が誕生しました。「新たな責任の時代」を訴えられ、新大統領は就任演説の中で、「I」（私）と話したのは冒頭だけで、19分間で57回の「WE」（私たち）が使われたと言われております。私たちのライオンズクラブの活動も、「I」でなく「WE」の精神であり、「未来志向的に私たちに今、何が出来るかを考え、身近で小さなことから自分自身のこととして、責任を持って行動を起こすことが必要ではないでしょうか」と、私は所信の中で述べさせて頂きました。共通した考えであることに意を強くした次第であります。

さて、今期も前半期を終わりましたが、クラブ会長の皆様には当初の計画通り、クラブ運営がなされておりますでしょうか。

私は、「地区運営の基本方針」の中で「会員増強」と「ライオンズクエスト・プログラム推進」「指導力育成」を三大重点項目として取り上げ、皆様の協力をお願いして参りました。お陰様をもちまして、唯一のこのを除いては、現在全て順調に推移しておりますことをご報告申し上げます。

唯一つのことは・・・？

皆様もお察しの通りです。そうですね！ 会員の減少であります。

クラブ会長はじめ皆様の力強いご協力を頂き、毎月多くの新会員を招聘することが出来ておりますが、誠に残念ながら、その数を上回る多くの退会者を出している状況であります。

引き続き新会員の招請、新クラブのEXT、退会の防止にご尽力下さいますようお願い申し上げます。

「ライオンズクエスト・プログラム」は、北川渉LC運営委員長のリーダーシップを発揮した強力な推進とクラブ会長のご協力のお陰で、9月坂出LC・10月今治サーチャングLC・12月土佐みずきLC・1月鴨島



INDEX

- 表紙2 山地章靖地区ガバナーご挨拶
2 東洋・東南アジアフォーラムに参加して
4 土佐みずきワークショップ報告
6 鴨島ワークショップ報告
8 冬季Y E生報告
10 薬物乱用防止教育認定講師養成講座
11 国際平和ポスターコンテスト審査会
12 2 R・8 R・9 Rリーダーシップ研究会
13 全国ライオンズクラブ献血推進会議
14 特色あるアクティビティ
16 クラブアクティビティ・レポート
25 周年レポート
27 地区年次大会案内図
28 四国の特産品（愛媛）
30 特別寄稿・四国の偉人
32 336-A地区会員現況
表紙3 物故会員・編集後記
表紙4 平和ポスターコンテスト最優秀作品

表紙写真

「坂の上の雲ミュージアム」

周辺が石畳に整備された「道後温泉本館」

まつやまブランドの「カラマンダリン」

今年、市制施行120周年という節目の年を迎える松山市では、小説『坂の上の雲』をモチーフとしたまちづくりを進めています。松山城や道後温泉をはじめ、市内に点在する小説ゆかりの地や地域資源を結びつけ、まち全体を屋根のない博物館とする「フィールドミュージアム構想」を掲げ、回遊性の高い、物語のある豊かなまちづくりを目指しています。

その中核施設として、平成19年4月『坂の上の雲ミュージアム』がオープンしました。この建物は、安藤忠雄氏による設計で、コンクリートのうちばなしに三角形のユニークな形状が特徴です。館内は、小説『坂の上の雲』の世界を映像や展示物で分かりやすく紹介しています。

この小説『坂の上の雲』が、今秋から3カ年間にかけて、NHKスペシャルドラマとして全国放送が始まります。

ぜひ、「いで湯と城と文学のまち」 四国 まつやまにお越しただいて、ゆったりゆっくりとした、まち歩きをお楽しみください。



第47回東洋・東南アジアフォーラムにて（香港）

LCでワークショップが開催され、LCは目標としました各県で一つのLQプログラム・WHの開催を実現しました。

「指導者育成のためのリーダーシップ研究会」は、西原透元ガバナー・名誉顧問に全面的な協力を頂き、講師として地区内ライオンズメンバーのご指導を頂き、順次各リジョンでの取り組みが進んでおります。心より感謝申し上げます。

いよいよ、4月には坂出市に於きまして、第55回地区年次大会が開催されます。

今期地区運営の総決算として、また次期地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナーを選出する重要な大会であります。

「夢無限・海橋とUDONの都でウィサーブ」を大会スローガンに、地区年次大会委員会を中心にホストクラブ全員が力を合わせて「おもてなし」の準備に励んでおり、ライオンズクラブ多数の皆様のお越しをお待ちしております。

“第55回地区年次大会・in坂出”
皆様とお会いできますことを楽しみにしております。

ライオンズクラブ国際協会336-A地区

地区ガバナー 山地章靖

東洋・東南 アジアフォーラム に参加して



地区キャビネット幹事
石井 淑 雄

第47回東洋・東南アジアフォーラムは、2008年12月4日から12月7日までの日程で、イギリス香る香港で行われました。

当初3361A地区は60名の要請でありましたが、三谷喜朗大会参加委員長のご努力で76名の参加を得ることが出来ました。

出発は12月4日10時関空発JAL便であります。当日早朝坂山出発はきついと云うことでガバナーの同伴をして森崎キャビネット会計、原北事務局長、河崎事務局次長の5人で関空ホテルに前泊しました。

4日8時、関空出発ロビーはA地区



セントポール天主堂跡（マカオ）

メンバー、複合地区のメンバー等でライオン一色になりました。10時フライト、4時間30分後、無事香港国際空港（チェク・ラップ・コック空港）到着。バスに乗りそれぞれのホテルへと向かいました。

出迎えたのは超高層ビル（中には400mを超えるものもある）群と超高層住宅群でした。開けば超高層建築集積率は世界で2番目に多く、これはニューヨーク市マンハッタン地区に次ぐものだそうです。

又、香港の名称は香木の集積港に由来するとの事です。行政は第一次アヘン戦争後1842年からイギリスに永久割譲、1997年に返還された後、中国国内で香港特別行政区として一国二制度の採用で2047年まで資本主義のシステムを取り続けることになっているそうです。

5日15時、アジア・ワールドエキスポ会場で行われた開会式に参加しました。ガバナー達は壇上に着席、香港特別行政区長官の到着を待って式は始まりました。

ブランドル国際会長の長めの挨拶の後は、韓国席から日本席へ、日本席から韓国席へと3361Aと3541D



大会会場（アジア・ワールドエキスポ）

両地区の特設懇親会場となり旧交を暖めました。

18時からは香港中心部にあるハッピーバレー競馬場6Fゲストルームで“MD336の夕べ”が開催され仲間達との和やかな会話がいつまでも続きました。

それにしても眼下に広がるパドックにある緑の芝の美しいこと。700万都市にあって神神しいまでの静寂。馬のいななきが今にも聞こえそうな錯覚。本当に素晴らしい雰囲気の中での“夕べ”でありました。



6日、ガバナーは5日に続き「国際会長、国際第一副会長とガバナー、副地区ガバナーの会議」がありました。一般参加者はそれぞれのオブシヨナルツアーに参加しました。

香港から高速双胴船で1時間の船旅、そこには香港とは趣が異なるポルトガル香る港町マカオがありました。

セントポール天主堂跡を含め22の歴史的建造物と8つの広場が「マカオ歴史地区」という名前で世界文化遺産に登録されているそうです。

日本でも馴染みあるフランシスコ・ザビエルもここマカオを拠点に東南アジアで布教活動を行っていたそうです。

世界遺産見学の後はカジノです。

3年前ラスベガスを追い抜き世界最大のカジノ都市になったそうです。私達も少しですがそれに貢献したと思います。人口52万人の都市は今、年間2,000万人の観光客を迎え入れている観光産業大都市でありました。

18時、ガバナーの同伴をして開会式が行われた同じ会場のアジア・ワールドエキスポで行われるジャパンレセプションに出席しました。日本の8複合地区の議長、ガバナー、一般招待者で会場はほぼ満席になっていました。

今年7月に行われる第92回ミネアポリス国際大会で選挙される337-A地区4R4Z太宰府LC所属の不老安正国際理事候補に国際会長始め各国の



国際理事から盛んに激励と期待が述べられ、かつ日本から国際大会への多数の参加と代議員による投票を呼びかけられました。

最後にご本人が国際理事候補として所信を表明、万雷の拍手で閉宴となりました。

7日、沢山の出会いと感動をお土産に無事帰国。

ご参加いただいた皆様に只只感謝。心よりお礼申し上げましてご報告いたします。

高知とさみずきライオンズクラブ ライオンズクエスト 報告

「思春期のライフスキル教育」プログラム

高知中学・高等学校ワークショップ

高知とさみずきライオンズクラブ
ライオンズクエスト特別委員会委員長 北 泰子

日時

平成20年12月13日（土）
9時～16時
平成20年12月14日（日）
9時～17時

場所 対象者 講師

高知中学・高等学校食堂
高知中学・高等学校教員
外川 澄子
ライオンズクエスト認定講師
東京都立小学校校長

参加者数

参加予定者 27名
1日目参加者 20名+1名



スタッフ

（前回参加・終了者）
2日目参加者 19名+1名
（前回参加・終了者）
修了証交付者 19名

1日目 高知中学・高等学校
担当者 秋山 教一

高知とさみずきLC 4名

北川 渉 ライオンズクエスト運営
委員長

2日目 高知中学・高等学校
担当者 秋山 教一

高知とさみずきLC 4名

北川 渉 ライオンズクエスト運営
委員長

田上 正司 6R青少年・LCI

F・市民奉仕・児童奉仕委員

森下 広和 7R青少年・LCI

F・市民奉仕・児童奉仕委員

高橋 光男 前キャビネット幹事

1日目 開講式（8時50分～9時）

（1）高知とさみずきライオンズクラ

ブ会長挨拶 浜田久美子

（2）ライオンズクエスト運営委員長

挨拶 北川 渉

（3）高知中学・高等学校校長挨拶

高地 弘泰

（4）講師紹介

【ワークショップ開始（9時～16時）】

午前（9時～11時30分）

ゲームを行いコミュニケーションシ

ンをとる
自己紹介

（2）ライフスキルの柱・背景について

（3）ワークショップの主題・目的・

（4）特徴について

（5）「居心地を良くするためのルー

（6）ルづくり」

（7）グループに分かれ役割分担をし、

（8）グループワークを行う。

（9）ロールプレイの指導法

（10）昼食（11時30分～12時30分）

（11）午後（12時30分～16時）

（12）教材検討（シグソーパーズル方式）

（13）①各自の検討 40分

（14）②発表する時間 40分

（15）ブレインストーミング

（16）「青少年の特徴」「青少年の問題

（17）行動」「大人ができる支援とは」

（18）危険行動防止を訴えるポスター

（19）作り

（20）振り返り

（21）2日目

（22）午前（9時～12時40分）

（23）エネジャイザー

（24）講師が授業例を示す

（25）4グループに分かれて授業の準備

（26）（4）1グループ発表授業

（27）昼食（12時40分～13時40分）

（28）午後（13時40分～17時）

（29）2グループ発表 感想 講師評

（30）3グループ発表 感想 講師評

（31）4グループ発表 感想 講師評

（32）振り返り「賞讃の授業」

（33）ワークショップを受けての感想

（34）修了証書渡し

ワークショップを受けての受講者感想

- ・ 2日間受けるまでは休みたいと思
- ・ っていたが、参加できて良かった。
- ・ 道徳の授業で取り入れていきたい。
- ・ 疲れたが、勉強になった。
- ・ 2日間大変よく勉強した。
- ・ よく家で妻に「聞きゆうが?！」



と云われていたが、「聞き方」のワークショップを受けてその意味が解った。
・ 疲れたが、2日間いっしょに受けて戦友のような気持ちになった。
・ 仲よくなれて良かった。
・ 生徒との接触の仕方を考えていこうと思った。今後このワークショップで学んだことを生かしていきたい。
・ 体調が悪かったのが後向きになりがちだったが、皆にはげまされて最後までできた。
・ 子どもたちとのコミュニケーションに役立つと思う。
・ いつも教師目線で授業をしていることに気付いた。
・ 緊張していたが、終わってみると楽しかった。
・ カウンセリングを受けた後のように気分がすっきりした。
・ 若い先生方の頑張りが良い。後を任せることができると思った。
・ 2日間、頭を耕してもらった。他の先生の色々な面がわかって良かった。



ワークショップに

参加しての感想

「ライオンズ・クエストを受講して」

隅田 将之

私は今年の3月に大学を卒業し、4月から本校で時間講師をしています。これから専任となり、担任をもってクラス運営に携わっていくときのために、今回のライオンズ・クエストを受講させていただきました。

今回の講演を通して私が一番強く感じたことは、一緒に受講した教員たちとの距離が近くなったということです。今まで関わりをもつ機会のなかった先生とも、様々な活動を共にすることで自然に親しくなれました。簡単なゲームを取り入れた自己紹介や、エネジャイザーでは、それまでの硬かった表情から、笑顔がたくさん生まれました。グループ分けをして行った班活動では、自分達でルールを作ることを経験したり、役割を分担して様々な課題を話し合いました。このような活動をグループで行ったことにより、メンバー間の結束が強くなったと感じました。このプロセスこそが、担任として、クラス運営をしていくときに大切にしなければならぬことだと思います。教師の指導の方法により、たった数時間で生徒間の心の距離をぐっと近づけられると感じました。

また、模擬授業や様々なロールプレイを通して、先生役と生徒役の両方を経験したこともよかったです。生徒役として、班活動で課題を話し合い発表する過程を通して、班の中でも様々な考え方があつたことを確認し、また他の班には自分達がいかに思っているかを伝えることが確認できました。この作業によって、他人の考え方や存在を受け入れ、尊敬し合える関係が築けることができるのではないのでしょうか。自分はこのように感じました。これを生徒にも体験させられるように教材を研究し、活かしていきたいと思います。

実際の新入生のクラスではこれほどうまくはいかないかもしれませんが、今回の経験は私にとつ

てクラスを運営するときの大きな財産になりました。安心できるクラス、お互いを認め合えるクラスをつくりたいと思っても、実際にどういうプロセスを踏めばいいのだろうと戸惑うと思います。今回の体験が実際にクラスをつくるにつれていくときの1つのモデルになったと思います。楽しく、とても貴重な体験をすることができたことを感謝しています。

初心に戻る

滝口 哲

私にとつては、今までに見てきた様々な学習スタイルを振り返り、学び直す機会でした。教科で学んできた学習の展開について、例えば、4段階の学習展開の場合漢文に出してきた起承転結のことだし、生徒に活動させるのは小学校で始まった生活科、その後の「総合的な学習の時間」での研修がそれにあたります。生徒が話し合いで役割分担していく。ただし、それが言われるままの動きではなく、その過程で、発案し、計画し、実行し、次へ向けて反省していくことを、力としていくということが当然にねらわれていたわけです。それを、別の形で今回ならうということでした。

だからといって、意味がないとはいふことではありません。一番最初に、「この機会に期待すること何か」を発表したときにも言いましたが、忘れていたことを思い出すことは、いつでも必要な事です。そのとき、手を変え品を変え学び直すことで、新しい発見があるわけです。ちょうど、古典を読み直すたびにそれまで気づかなかったことに気づいていくようなものです。

ブレインストーミング。これも「どこかで」と思っていたのですが、気づいてみれば古典落語で、本題に入る前に、よくちよつとした一見本題には関係のないような話から始まります。それだと気づきました。引き伸ばせば、役割分担も本題の前の少しの「遊び」にもなり、物事を進めるための緊張ほぐしとしての必要事ということでしょう。社会教育の場に行くと、じゃんけんでも拍手で、それに応じて何人組かを作るなども習いました。

広く言えば、講演会でもいきなり本題には入りません。講師がここに着くまでの出来事やハプニングから始めるのもそれです。あれもこういう意図があつたのかということ、つながっていきました。当然に授業にも使えます。聞き上手のこと。それは新人社員への教育としての作法指導のときに言われることだろうとも思いました。そうです。それは作法です。要するに相手に合わせて物事を進めるという対人関係の基本だろうと思います。「カウンセリングマインド」という言葉もこれに似たものとして、理解したものです。

起承転結については、教科指導の指導案を書くときに、仕込まれたものです。その中に生徒の活動を入れること。そうしないと、いくら立派なことを授業で行ったとしても、生徒には何も残っていない。それでは所詮自己満足にすぎない。その通りです。だからこそ、生活科ができ、また総合的な学習の時間が取り入れられた所以です。文化を辿ってきた道を、生徒が自分の頭と手と足とでもう一度辿るということがあつて、はじめて身につくものです。それを能率のみを言って、量をたくさんに叩き込むことでは消化不良は目に見えています。そのために、「総合的な学習の時間のなかに丁寧に、活動を取り入れていくということになったのですが、それを今回改めて確認させてもらいました。ただ、それがあまりにも形式的になっている。授業研究会に行くと、活動が目的になっているのではないかと思われるような場合があり、さらに多くて、食傷気味になってしまったのです。改めて見直して、原則に戻ったような思いでした。忘れていたことを思い出すということになったのは、このことです。ただ、気になっているのは、前提としての人間観で、これは、方法ではなく突き詰めればそれぞれの方法はどういう人間を作ろうとしているのかという根本的な問題ですから、方法を考えるとき常に頭のどこかにおいておく必要は当然のことです。方法の提案者も学ぶものたちも、同じことです。

こんなことを考えながら、研修を思い出してあります。ありがとうございます。

ライオンズクエストに参加して

春山 幸恵

12月13、14日と、学校主催のライオンズクエストに参加させていただきました。

始め担当の先生から、「ライオンズクエストという勉強会があるから参加してみないか。」とお話があった時はライオンズクエストがどのようなものであつて、どんな勉強をするのかまったく「ピン」とこないまま「せっかくだから参加させてもらおう。」という軽い気持ちでの参加でした。

しかし、いざ参加してみるとアイスブレイキングをはじめ、導入部分から子供の心をつかむため、そして動かすための授業内容や目的が記されていて内容の濃さと教科書の量に驚かされました。

講師をしてくださった、戸川先生が教師役をされて授業を実践された時も、教師側が一方的に話を子供にぶつけるのではなく子供たち自身にも活動をさせることで、ぶつかった問題について考えさせ他人の考えも聞きながら退屈させない、むしろ楽しみながら学ばせる授業を体験させていただきました。

自分自身も、生徒役・教師役両方を体験させてもらいましたがあの時間で自分が教師として指導案を読み生徒に授業するというのはとても難しかったです。しかし、一緒のグループになった先生方に助けられなんとか授業を行うことができたと思っていますし、とてもいい経験になりました。

また、一緒に参加した先生方のいろいろな顔、そしてたくさんの方の考え、ご意見を聞くことができて、そんな考え方もあるのだ！と勉強になりました。

これから、この教材を学校で取り入れていくために一人ひとりで勉強し研究するのではなく教師同士がタッグを組みあいながら、意見交換をして現代の子供たちに伝えていくことがこれからの教育に必要なと強く感じました。

この2日間が、とても有意義なものになり自分自身を成長させてくれた勉強会になったと思っています。ありがとうございます。

鴨島ライオンズクラブ
ライオンズクエスト報告

「思春期のライフスキル教育」プログラム

09年徳島ワークショップを開催して

鴨島ライオンズクラブライオンズクエスト特別委員長 多田 徹
3361A地区 ライオンズクエスト運営委員 坪井 詔一

07年徳島ワークショップ（8月24・25日、徳島藍ライオンズクラブと共催修了23名）に引き続き、第2回目となる09年徳島ワークショップを09年1月10・11日の両日、吉野川市立川島中学校・多目的ホールを会場に開催いたしました。

前回はライオンズクエストそのものの認知度が低く、共催いただいた徳島藍ライオンズクラブの会長様はじめ会員の皆様ともども参加要請等に大変苦労いたしました。何とか現場の先生方・教育関係者並びにクラブメンバーのご参加により開催できましたことを感謝いたしております。

今回は、前回の課題を解消すべく、当ライオンズクエスト特別委員会（四名）の各委員が叡智を結集し合い、定員いっぱい30名で開催できましたこと、会員一同喜んでるところです。

オリエンテーションで、認定講師の外川澄子先生の「ワークショップをどこらでお知りになりましたか？」の問いに対し、受講者の答えの中で一番多かったのが、

「同僚・上司」からが16名（53%）次いで、「ライオンズクラブ」が、8名（27%）、第3位が「友人・知人」の5名（17%）でありました。（重複回答）

このことは、前回受講された先生方の周知活動の効果でありましょうし、また、昨年夏に関東地区（8月6・7日、足立区第13中学校）で開催されたワークショップに参加された徳島市立南部、徳島中学校のお二人の勧誘効果の賜と感謝いたしています。

とりわけ今回は、藍住・鳴門・徳島阿波ライオンズクラブはじめ各ライオンズクラブの温かいご支援とご理解の賜であると感謝しているところです。

初日、開会行事には公私ともご多用の中、3361A地区を代表して、9RRの東條昭二（坂野LC）、四国地区ライオンズクエスト運営委員長北川渉（高知東LC）、9R1ZC岩佐典秀（藍住LC）、9R3ZC市村通夫（鴨島LC）、鳴門LC会長春木扶佐子、青少年委員長井上宣英各ライオンズ出席のもと盛大に開催されました。また、昼食時には、副地区ガバナール武久一郎、川辺信郎（徳島城山LC）両ライオンも来訪され、受講者の皆様に激励のこたえを贈られ皆様感銘を受けたところです。

終始熱心に参観体験されました秋月敏夫（阿波LC・幹事）、春木・井上・鳴門LC・会長、青少年委員長、岩佐、佐藤委員（徳島すだちLC、8R・YE国際委員、山下実（阿波勝浦LC・8R青少年・LC1F・市民奉仕・児童奉仕委員）の各ライオン諸氏に拍手を贈ります。

終わりに、現場の先生方と共に、ワークショップに本当に意欲的に、情熱的にご参加いただきました鳴岡孝雄（阿波池田LC）、米川孝宏（徳島LC会長）、高橋寛治（徳島LC幹事）各ライオンに、心から修了と賞讃の拍手を。会員の皆様ともども、健やかな青少年の成長を期待して、ライオンズクエストの普及活動に努力していきたいと決意しているところです。

第二回徳島ワークショップ開催に寄せて

3361A地区 ライオンズクエスト運営委員長 北川 渉
（高知東LC）

この度の第2回ライオンズクエストワークショップが盛会に開催されました事は、大変に喜ばしく存じます。

参加者は当然、教育界の最前線でご活躍されている方ですが、その中で、現代は勿論、次代へと担っていく姿が非常に印象的でした。今回の参加者に受講のきっかけを伺えば、他の「ワークショップ」を体験して、いたく感銘を受けた人からの強い勧めに依る方、また多方面から情報を得て関心を持ち、受講に至った方等々。

私が驚いたのは、わずか2年足らずで評判が評判を呼んで広がったという事です。これは正に、多田徹委員長・坪井詔一委員を初め、鴨島LCクラブ（志摩利忠会長、会員34名）の皆様が情熱を持って取り組んでこられた結果ではないでしょうか。

3361A地区は、06・07年度で四大交付金の申請をし、07・08年度に2か年計画の事業を開始しました。この間に、6回のワークショップセミナー等を開催し、3000名、4000名と大勢のご参加をいただきました。6月の終了を控えた今、地区内外を問わずライオンズクエスト（LC）に対する関心は高まり、問い合わせが多くなつて参りました。これも偏に鴨島LCの皆様が、精進を重ねてこられた賜と心より感謝いたします。



今後は、徳島県内において、さらに多くの先生方にライオンズクエストが拡大される事を願っています。



ワークショップに

参加しての感想

鳴門教育大学付属特別支援学校

教諭 岡田 美紀子

「思春期のライフスキル教育」プログラム・二〇〇九年徳島ワークショップに参加してよかった！楽しかった！という思いでいっぱいです。二日間でこんなに参加した方々と仲良くなれるかと思ひ、また、今まで知らなかったことを知ることや新しいことを学ぶことは楽しいと感じた充実した二日間でした。

このプログラムでは、PISA（注・参照）でトップのフィンランドと同じく予防に力を入れていました。何かが起こったとき、いろいろな方法を自分で知っていることやどんなふうを考えていくかを知っていることは本当に大事なことで、ワークショップで自分が生徒として体験しながら感じました。こんなふう考えたらいいことを若いときに知っていればよかった、また、子どもたちにもこんな方法を知っていたら安心だよということ伝えたいと思いました。それから、私はいろいろな方法を考えないままにすぐに結論を出すタイプだと自分のこともよくわかりました。今回誘って参加した友人から、早速注目させる方法を取り入れたり、参観日に授業をしたりと、「今日だけで二千円分くらい活用したよ。」と、楽しんで授業をしているうれしい報告がありました。この年でも遅くはない、今回学んだことを実践して、ぜひ子どもたちと学び合いたいと思っています。

今回わかりやすくこやかに教えていただいた講師の外川先生、お世話していただいた鴨島ライオンズの皆様、ありがとうございました。おかげさまでおいしく、楽しく学ぶことができました。心より感謝申し上げます。（注・ピサ。学習到達度調査の略。OECD

（経済協力開発機構）が10年から3年ごとに行っている調査。15歳の生徒を対象に、数学・読解・科学・問題解決能力の4領域の知識と技能について調査する。）

吉野川市立川島中学校

教諭 立石 明美

「こんな研修が、あるんやけど、これからの教員生活にとても役に立つと思うよ。」と、勧められるままに「これからってな……。」と、年女の私は、研修の初日を迎えました。

当日は、雪もちらつくの空模様で、用意してくださっていたストーブが、とてもありがたく思えました。参加されている方の中には知った先生方もおいでで、その意気込みと前向きな姿勢に、「そんなに、人気のある研修だったのか。」と、内心あわてました。

研修は、外川先生の温かく、かつはっきりとした「思春期ライフスキル」の起こりと意義・背景・目的などの講義（オリエンテーション）から始まり、ゲームをしながらの自己紹介（エネジャイザー・アイスブレイキング）、ブレインストーミング、グループでの模擬授業と、不安など感じる間もないくらい内容の濃い充実したものでした。

参加・対話型の研修だから、参加された方とも親しくなれ、自分のエネルギーになりました。学んだことは、どの子どもも、持てる力を十分発揮でき、充実した生活が送れるような社会の実現、今からの教育に活かせると思います。「参加してよかったなあ。」と、参加前の自分と比べると何か前向きになっていることに気付きます。ありがとうございました。

今治明德中学校

教諭 野住 幹生

私は昨年6月に今治で「ライフスキル教

育」プログラム体験会が開催され、ワークショップには是非とも参加したいと思っておりました。しかし、愛媛県でのワークショップに仕事の都合で参加できなかったため、他の地域で参加できる日程を今治東LC（青少年地区委員・中村省司ライオン）から紹介いただき、今回の参加となりました。

徳島の先生方は自費で参加された方もたくさんおられ、その意欲や考え方に大いに刺激を受けました。そして、講師の外川澄子先生の優しい語り口での温かい雰囲気での講義はとても受け入れやすかったです。この2日間での各地の個性あふれる先生方との交流や一緒に活動する中で、このライフスキル教育の指導方法がある程度理解することができました。本当に大変有意義な2日間となりました。

これからは、学んだことを授業に活かして、「生徒が健康で、よりよい人生が送れるようになる」よう、方向付けていくことが一番大切なことだと考えております。参加する機会を与えていただいた鴨島LCの方の御協力とたくさんの方々との出会いに感謝いたします。

藍住南小学校

校長 和田 哲雄

藍住ライオンズクラブのお勧めに従い、今回の研修会に参加させていただきました。感想は次の通りです。

（1）現今の日本の教育上の問題点は、学校現場にあるというよりも、むしろ家庭の教育力と地域の教育力の衰退にあると私は捉えています。今回のライオンズクラブの活動は学校を側面から支援することにより、いわば「地域の教育力の補完的な役割を結果的に果たされているのではないかと先ず感じました。その点を大変頼もしく、またありがたう思います。

（2）ライオンズクエストの本質は、自尊感情の育成、親子の絆の確認、他者への思いや

り、自律と責任の大切さ、円滑な人間関係の形成方法、ボランティア精神といったことをワークショップ形式で子どもたちがスキルを学んでいくことにあると認識いたしました。

（3）項目一つひとつは、道徳学習や人権学習、更には各種研究会等で教員も既に学んだことがあるノウハウがほとんどだと感じましたが、それらを体系化して授業80時間に及ぶプログラムを編成した点にライオンズクエストの独自性があると思いました。

（4）当該プログラム開発者から国際ライオンズクラブが版權を買った経緯からやむをえないのかもしれませんが、研修会参加者にしか資料開示が許されない閉鎖性が、ライオンズクエストの今後の学校への浸透ポテンシャルを小さくしているような気がしました。ここを打開する有効な方途を考えていただければと思います。

鴨島ライオンズクラブの皆様方をはじめ、今回ご尽力くださいました関係者の皆様方に、心よりお礼申し上げます。次代を担う子どもたちへの皆様方の熱い想いを感じた貴重な研修会でした。



冬期派遣Y E生

帰国報告

フェリス女学院大学四回生 高橋 靖子
(徳島ライオンズクラブ)

首都 ザグレブ

クロアチアの首都はザグレブという地である。青果市場はとても賑わい、広場ではクリスマス前なのでダンスなどの催し物がされていました。

トラムという日本という路面電車のようなものも複数走っており、クリスマス前なので、子供のみが乗れるトラムも存在していました。なかには、日本のアニメの書かれたトラムも存在し、こんなところに日本のアニメが描かれているとは思わなかったので驚きました。

ショッピング街から少し離れると公園や大使館などが並び素敵な街並みでした。

残念ながら、冬なので私は見る事ができなかったのですがその公園では暖かくなるとコンサートが毎週開催されるそう。また、どこの公園にも噴水が存在しており、花も咲き乱れるそうなので、ぜひまた春や夏に赴いてみたいと思う。

クリスマス ジャコバ

クリスマスの間、私が滞在していたのはDacovoという町です。クリスマスに、ライオンズクラブの方々がクリスマスチャリティーを開催

していたため、多くのクロアチアのライオンズクラブの方々にお会いすることができました。皆、親切で明るく、素晴らしい人たちでした。ライオンズのグッズをいただきました。

内容としては

女性の方々・各々の家で作った様々な種類の菓子類を一つのバックにいれ販売。もちろんチャリティーなので値段が付いているわけではなく、皆さん任意の価格で買っていくかれます。見事に完売しました。(ひとバックいただきましたがとてもおいしかったです)

男性の方々・小魚を揚げたものとパン。こちらもとてもおいしかったです。

ただ、クロアチア人の宗教は、大部分がローマ・カトリックである(87.8%)。ため、クリスマスイブには、お菓子や肉類を食べないそうです。ですから、これらのお菓子はイブに食べることはなく、クリスマスに食べるのだそうです。(私は食べました)

また、「キリスト教」と言えば伴うのが教会ですが、クリスマスには、クリスマス期間だけにされる装飾があります。どの教会でも、イエスの誕生をかたどった装飾がされていました。クリスマスのツリーはやはり本物の木で、さまざまところで販売していました。自分の好きな木を選び、ツリー

仕様にしてもらう。そして持ち帰って飾り付け。

私も参加させていただきました。アンナ、ダイアナとともに飾りつけ。とても楽しかったです。

日本ではクリスマスツリーと言えばクリスマスの何週間も前から出ているイメージがありますが、こちらではイブの日に飾り付けをしたことが些細なことですが驚きでした。

イブの日には皆懺悔に行くようで、大聖堂では長蛇の列でした。また、クリスマスになったとたんみな、「セータンボージッチ(メリークリスマス)」と言いながら、握手とキスを交わしあうようです。

新年 コトリバ

新年は、コトリバという地にて迎えさせていただきました。

重要さで言う、海外でのクリスマスが日本の正月のようなもので、クリスマスほど重要視されているわけではありません。ただ、やはり新年なので皆で祝います。

ただ、地域にもよるのかもしれませんが、家族とはなく、それぞれの友人と。といった形が多いのではないのでしょうか。

私は、私のおじやましたFamiyの長女であるロベルタとともに新年を迎えさせていただきました。私は、ロベルタの友人らとCafe barに行き、そこで次のような流れだったわけですが、家庭で祝う場合もほぼ似たものだと思います。

8時頃からクロアチアのOidmu sicにのせてみなで踊ります。

新年を迎えるとともに「セータンノヴァ(HAPPY NEW YEAR R)」といいつつ、みんなそれぞれ挨拶を交わしあいます。

そのまま朝の7時ぐらいまで踊



るそうです。私は残念ながら途中で寝てしまいましたが、非常に楽しく良い経験でした。

この地は、非常にハンガリーの国境線に近かったため、家から徒歩10分程で国境です。(微妙に越えました)

また、クロアチアはとても自然公園の多い素敵な国ですが、famiyにその中の一つであるブリトヴィツェ湖群国立公園に連れて行っていただきました。壮大で美しく、感激しました。

ポレチエ

最後の一週間はこの地で過ごさせていただきました。

この地は、どちらかというと富裕層の方が住む地だそうです。また、海が近く、球技場やホテルが充実していて、様々なナショナルチームがここに練習をしにくるそうです。

どの家も。というわけではないとは思いますが、私の見る限りでは、どの家も、旅行者用の家や部屋を別持っている、観光の町のように思われまし



た。また、店も、観光シーズンは開いているが、冬は閉まっている店というのが多数存在します。人によっても、観光シーズンはポレチエに住み、それ以外はザグレブに住む。なんて人もいますそうです。また、ポレチエから車で一時間ほどのところにブルーという町があり、そこには1Cに建設されたローマ帝国時代の円形劇場がある。当時は闘技場として使用されていたそう。現在では、夏などは毎日ここでなんらかのイベントが開催されているとのこと。（オペラやコンサートなど）ちなみに冬は何もしていないみたいです。クロアチアの海はとにかく美しく、透き通っていました。クロアチアにはすばらしい遺跡や自然が数多く存在し、観光シーズンに観光客でにぎわうのもよくわかります。車の多さから、交差点は基本ロータリーになっているそうです。もちろん渋滞にしないためです。

食生活

家庭によって異なるのはもちろんであるが、基本的だと思われるメニュー朝食・パンもしくはフルーツ（パンにつけるチーズ、サラミのようなソーセージ etc.）昼食、夕食・サラダ（塩、ビネガー、オイル）、自家製のパスタの入ったスープ、メイン料理、添えつけにパン、といった形である。基本的に「ベゲタ（vegetable）」というクロアチア特有の野菜100%の香辛料を使う料理が多い。また、豚料理が多く、ときとして豚の脂を揚げたものなども存在する。イチジクがクロアチアでは有名であり、自家製のイチジクのジャムが、お

世話になった家庭の半数に見られたことより、メジャーであると思われる。庭にイチジク、リンゴ、ナッツの木を栽培している家庭、また、食用にうさを飼っている家庭が多く見受けられた。クリスマスには、個々の家庭で様々なお菓子を作るらしく、大皿に盛りだいたれた様々なお菓子がテーブルの上に置かれていた。とてもおいしかったです。また、些細なことではあるがTEAの認識が異なっていることに驚きました。はじめてCafeにて注文の際に少し困った。というのは、私達で言うTEAはENGLISH TEAをさすみたいであり、クロアチアにはそのような種類をさしていたからです。つまりはハーブティーなど。ハーブティーといってもさまざまな種類が存在する。つまり、teaという注文とともに、自分でチョイスする形となる。ストロベリー、バナナ、オレンジ etc. . .

言語

言語は、クロアチア語が公用語であり、広く使われている（96%）。過去は、ロシア語が必須教科だったそうだが、現在は様々な言語が学ばれている。多くのものがドイツ語もしくは英語を学んでいるという印象を受けた。イタリアに近い地域では、イタリア語も話せるというものが多くいるそう。バリンガルではなくトリリンガルも多く見受けられた。それは、クロアチアのテレビは、E U 各国の言語の放送を見ることができ、また、さまざまな国と隣り合っており、気軽に外国語の必要性を強く感じることができ、外国語の必要性を強く感じられるだろう。



だが、イタリアに行ったYE派遣生たちが言うにはイタリアではイタリア語しか話せないものが多くいた。ということより、クロアチアの社会問題でもある、「職を得ることが難しい」ということが最も大きく影響しているのではないかと思われる。クロアチアでは、さまざまな方に助けていただき、さまざまな方のおかげで、本当に貴重で素晴らしい経験を多くすることができました。特に、私のHost Family となった方々には本当に感謝をしております。ライオンズクラブの方々はWe Serve（われわれは奉仕する）の心に、まさに触れることのできた1ヶ月間だったと思います。クロアチアで触れた多くの人々の親切な心を忘れずに、私もまたその心を返していけたらなと思っています。最後に、お世話になったHost Family の皆様の写真です。本当にどうもありがとうございます。心より感謝しております。

2008～2009年度 冬期YE来日生紹介



ウィンターキャンプ（大山）

冬期YE来日生	ホストクラブ	来日	帰国
SAMANTHA CHIN HUI HUI (シンガポール)	坂出白峰LC	12月13日	12月27日
GOH ZUO XUAN (マレーシア)	徳島すだちLC 徳島藍LC 藍住LC	12月14日	1月4日
CHAN EE LING (マレーシア)	高松屋島LC 三豊LC	12月13日	12月27日

(敬称略)

ライオンズクラブ国際協会三三六―A地区

薬物乱用防止教育認定講師養成講座開催

2009年1月18日（日）、坂出グランドホテルにおきまして薬物乱用防止教育認定講師養成講座が開催された。

当日の参加者は103名、主催は336―A地区と（財）麻薬・覚せい剤乱用防止センターである。ビデオ講座に引き続き医学博士 万本盛三氏による基礎講座、香川県警察本部組織犯罪対策課課長補佐 蓮井洋樹氏、香川

県教育委員会保健体育課主任指導主事 川口一氏、香

川県保健福祉部薬務感染症対策課主事 井上朋氏らに

よる各専門講座、つづいて東京鷺谷ライオンズクラブ

の寺田義和氏の実践講座での締め括りとなった。閉講

式は（財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長

阿部俊三氏の講評、山地章靖地区ガバナーからの終

了証の授与、閉講の辞は武久一郎副地区ガバナーが述

べ4時間に亘る講座が終了しました。当日受講を受け

られた各人それぞれが薬物乱用防止の意を新たにもつ

て、これからも各地にてより積極的に取り組んでいた

だけるものと思います。





第21回国際平和ポスターコンテスト 審査会開催

テーマ『平和は自分から』

青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員長 大川 文彦

去る、2008年11月25日（火）336-A地区の国際平和ポスター審査会が坂出グランドホテル2F四国の間で開かれました。これは、336-A地区内の114クラブが受けた4,880枚のうちから厳選され、キャビネットへ応募のあった265枚の中から、最優秀賞1点と優秀賞10点を選ぶためのものです。

当日は、香川県教育委員会から細松英正教育長、東山魁夷せとうち美術館から東山敏昭館長を始め美術家協会会員、マスコミ関係の方を迎え、また、336-A地区山地章靖地区ガバナーを始めライオンズのメンバーと一緒に選定しました。審査員方のそれぞれの意見をだしてもらい、みんなで話し合いながら、ていねいに厳正に審査を行い最優秀作品、優秀作品を決定しました。

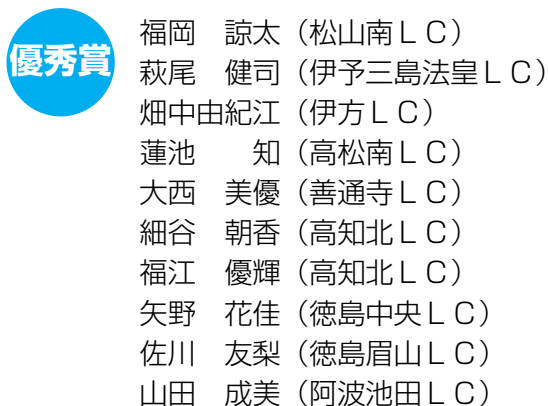
残念なことに、今年も審査規定外の作品（文字、数字を使ったもの等）がありました。作品を募集する時によく説明してほしいと思いました。

336-A地区審査結果（敬称略）

応募作品数：265枚（各クラブの応募作品総数：4,880枚） 参加クラブ数：114クラブ



2008年11月25日（火）



【336-A地区審査員】

香川県教育委員会教育長
東山魁夷せとうち美術館館長
香川県美術家協会会長
自由美術協会会員
四国新聞社編集局次長
西日本放送報道制作局報道制作部長
NHK高松放送局副局長
336-A地区ガバナー
336-A地区キャビネット幹事
336-A地区キャビネット会計
336-A地区青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員長

細松 英正
東山 敏昭
國方 善親
谷本 重義
泉川 誉夫
小野 修一
日下 英陽
山地 章靖
石井 淑雄
森崎 敏彦

336-A地区誌編集委員長
336-A地区キャビネット副幹事・事務局長
336-A地区キャビネット副幹事・事務局次長
336-A地区キャビネット副幹事・事務局次長

大川 文彦
宮本 宗雄
原北 健男
引田 春美
河崎 和義



336複合地区審査結果

賞	地区	スポンサークラブ名	応募者氏名	学校名・学年
最優秀賞	B	倉敷ローズ	渡邊知央	倉敷市立夢浦西小学校6年
優秀賞	A	阿南	走川智寛	阿南市立阿南第一中学校
優秀賞	C	尾道因島	箱崎 恵	尾道市立土生小学校6年
優秀賞	D	防府リパティ	川口 舞	華陽中学校1年

336複合地区選考会：2008年12月9日（火）

3つのリジョンで リーダーシップ(指導力育成)研究会が開催



9 R RC
東條 昭二



8 R RC
表原 俊之



2 R RC
宇高 昭造



グループ討論
「参加者行動への対応策は？」



早くも効果あり！表情豊かにスピーチ



2 R のリーダーシップ研究会は18クラブから各1名の受講者に参集して頂いた。講師の西原地区名誉顧問(常任)は前日の徳島での研究会に続き、前夜の雪で不通の徳島道を選び、高松経由で駆けつけて下さった。
研究会は従来の研究会とはテキストも進行も一味違い、全受講者のグループ討論、スピーチがあり、熱のこもった内容であった。

- ・開催日時
2009年1月25日(日) 13時～
- ・開催場所
グランフォールレ

2R リーダーシップ (指導力育成)研究会



- ・開催日時
2008年12月7日(日)
- ・開催場所
徳島市「徳島グランドホテル偕楽園」

8R リーダーシップ (指導力育成)研究会



9 R 担当河野隆男副幹事にもご出席いただき、初めての試みでしたが大変有意義な研究会であったと思います。
9 R 内17クラブより各クラブ1名、3名の参加協力を頂き熱心に受講され、終了後に回収したアンケートには「非常に感動し大変勉強になった。今後の活動に生かしたい。」という回答ばかりでした。

- ・開催日時
2009年1月24日(土)
13時30分～14時 登録受付
14時30分～17時30分 研究会
17時30分～19時 懇親会
- ・開催場所
徳島市1番町「阿波観光ホテル」
西原透元地区ガバナーの講師により初めての試みで少人数で中身の濃い研究会をという事で9 R では入会歴5年の会員を対象に開催。

9R リーダーシップ (指導力育成)研究会



平成20年度 「全国ライオンズクラブ 献血推進会議」



336-A地区 1R 環境保全・保健福祉委員 重川 加奈

開催目的

血漿分画製剤の原料血漿は、平成14年度110万リットル（確保目標量108万リットル）にも及ぶ原量血漿を確保してきたが、平成17年度には確保目標量が90万リットルにまで減少した。以後、平成20年度100万リットルとなり、今後も3万リットルを当面毎年増量していく方針が国から示されている。

こうしたことから日本赤十字社としても、血液法の理念である国内自給に向けた国の方針にもとづき、以前にも増して全国的な献血推進運動を展開し、原料血漿確保のため、全国的組織として献血推進に積極的に協力をしていくライオンズクラブに血液事業の現状や課題、特に成分献血の必要性について理解してもらい、一層の献血推進を図る事を目的として会議を開催する。

会議内容

一日目

日本赤十字社、ライオンズクラブ、血漿分画センター、それぞれの代表者が挨拶の後、日本赤十字社血漿分画センターにおいて献血で集められた血漿を血液製剤にする過程を60分間見学した。新千歳空港から車で約15分、交通アクセスと製造に欠かせない清冽な水が豊富にあり立地条件に恵まれた中で、安全で有効な血漿分画製剤を製造していた。一人ひとりの善意の献血を基に、一人でも多くの患者さんにより安全性の高い製剤をお届けできるよう、特に改良や製造技術の革新（製造装置の自動化）を積極的に進め、日々努力している様子がありありと目に映った。見学後、サッポロビール園にて交流会を行った。札幌市からライオンズクラブ会長の開会挨拶で始まり、沖縄八重山ライオンズクラブ3Rリジョンチュアパーソンズの閉会挨拶で終わった。ほんとうに全国から集まり、私は国のために活動しているのだと痛感した。み

二日目

「血液事業の現状と今後」についての講演では

今後の目標として

①血液の安全性をはかる

②国内自給をめざす

③血液の安定供給

④適応性をはかる

今後の献血の推進方法として

①若年層（10代・20代）の増加

②年2回以上の献血活動

③協賛企業の増加による集団献血

④高校・専門学校・大学の献血研修の実施

が主な内容であった。

「わが国の血液事業に期待すること」の講演は、米国より輸入された売血による血液製剤によりHIVに感染した血友病患者の体験談と献血の重要性についての講演で心に残るものだった。

「事例発表」では330-A地区の東京三軒茶屋ライオンズクラブの献血活動の発表で、10月8日にリジョン内のクラブがいつせいに11箇所献血をするもので、今回より献眼登録も同時に行うという内容だった。

「血の尊さ」の講演では335-B地区10R岡本崇RC（御坊LC）のRHマイナスの血液型である娘さんが癌に侵され、亡くなるまでの体験談を話されたが、話の内容も良く参加者全員感動すると同時に、献血活動の重要性を痛感したようである。

ビデオ上映「アンパンマンのエキス」小児がんを治療中のアンパンマンが大好きな4歳の男の子が輸血を受けること一時的に元気になることから輸血用の血液を「アンパンマンのエキス」と呼んでいたことをテレビ新広島が取材

し放送されたものだ。輸血を受けた患者さんの感謝の気持ち、時には「今、足りないの待って下さい」と言われ、祈るような想いで待っていた気持ち、表現されていた。

参加しての感想

さまざまな医療分野で尊い生命を救うために欠かせない血液を確保するためにご協力をお願いしている献血（赤十字血液センター）、それを医療の現場で活かしていただけるよう日々努力している血漿分画センター、「たくさん善意をいただき、そして大切にお届けする」日本赤十字社の信念を2日間、きっちり勉強してきた。ここからは始める（私からは始める）献血活動。かけがえのない生命を守りつづけていくため!!がんばろう！



北の大地「北海道」にての開催

特色あるアクティビティ

4R-3Z東かがわライオンズクラブ

入院中の子ども達へクリスマスリースを贈る

元会長 田中 勝弘

「先日は立派なリースをたくさんサ
ンタさんよりプレゼントしていただき、
ありがとうございます。子ども達は
もちろん母親（家族）も大喜びで、こ
っちがいい、あっちがいいと選ぶのに
大騒ぎでした。子ども達にとってつら
い入院生活を明るくして下さりありが
とうございました。」今年もこんな嬉
しい便りが届いた。

クリスマスに続きお正月を迎えると



制作風景（老健ひまわり）

いう楽しい十二月に、寂しく入院して
いる子ども達に一時でも明るく楽しい
想いをしてもらうために、「入院中の
子ども達にクリスマスリースを贈ろ
う！」と、ドクターメンバーが奥様や
病院の職員の方々と始めたものを、7
年前から我がクラブの事業として取組
み、毎年の継続事業となった。今では、
県下、西は善通寺の香川小児病院から
高松日赤、県立中央、香川大医学部附
属、そしてさぬき市民病院と、小児病
棟のある病院に入院中の子ども達に、
手作りリースを届けている。

リースの制作は、メンバーとその奥
様方に協力を願い、ドクターメンバ
ーの動員と併せて約四十名程が集合して、
真剣にまた和やかに美的センスを競い
ながら、時には笑いの渦の中で、見事
なオリジナルリースを仕上げて行く。

木のツルを直径三十センチの輪状に
したもの、赤や金色の鮮やかなベル
や雪だるま等のマスコットを付けた
り、前もって近所の松原や森で拾い集めた
松ぼっくりや木の実も、綺麗に色づけ
して飾りつける。出来上がりは素人の

手作りながら、なかなか立派なもの
になっていると自負しているが、如何
なものだろうか。ほぼ一日かけて二百
個を作成して病院毎に数分けし、後日、
メンバーが贈呈チームを組んで各病院
を訪問する。

クリスマスリースを病院へ届けたと
きの子ども達の反応は、恥ずかしそう
に受取る子、目をキラキラ輝かして嬉
しそうに胸に抱きしめる子、また、症
状が思わしくないのか静かに持つ子、
など様々だが、どの子もサンタクロ
スの服を着たメンバーが手渡すリース
を見て、何ともいえない笑顔返して
くれる。

リースを手渡した時の子ども達と付
添いご家族のお礼の気持ちに出会う度



高松赤十字病院

に、つらい入院生活から一日も早い退
院を、と祈り願っている。

クラブの主たるエリアになる東かが
わ市に小児病棟が無いので、地元に対
する奉仕活動と言えない所が一部の会
員の不満の声ともなるのだが、子ども
達の喜びの笑顔とお礼状を手にした時
の嬉しさによって、エリアを超えた事
業ながらも会員の協力と理解を頂き、
七年間の継続事業に至っている所以と
思っている。

「子どもは、一家団欒の家庭で過ご
し、家族に会話と笑いがある中で育つ
のが何よりも大事である」と願うが故
の奉仕事業である。



さぬき市民病院



特色あるアクティビティ

9R-2Z阿波池田ライオンズクラブ

阿波おどり棧敷管理運営アクティビティ

事業委員長 為実 邦義

徳島県西部の三好市は、昭和30年ごろから、8月14、15、16日の三日間、全市を挙げて、阿波踊りの高揚にとり組み、地域の発展のため、努力してきました。

当クラブは上記の趣旨に賛同、昭和42年会員が出し合った180万円で、徳島市の阿波踊り有料棧敷を参考に、落着いて観賞できる敷設として、手作りで作りました。



県西部で、下記のような観覧設備を設置できるのは、三好市のJR阿波池田駅を中心とした一辺が200×220メートルの三角地帯であり、昭和の30年間と平成の20年間のおよそ50年間、休みなく実施し、3日間で約10万人〜11万人の観客を集めています。

市の観光協会に所属している、各種団体の献身的な協力あってこそ成り立っているもので、当クラブの事業担当委員会を中心に、会員41名全員が踊り期間の3日間と、前後を入れて通算8日間、地域の発展のため酷暑の中、黒子に徹してきました。

以下、棧敷管理や運営アクティビティの概要をお知らせします。

観覧棧敷は、固定式と移動式があつてそれぞれ収容人数が約430人と300人。附属物として、テント、机、椅子、接待用麦茶類紙コップ。記章や団扇は毎日1000個から1500個を用意。臨時の女性アナウンサーもお願いしました。

また、踊りの期間中、座席券の販売、



麦茶接待、座席整理など3日間で延べ54名の会員が参加しました。

その他安全面では、警察、消防、市の観光課の合同立入り検査をお願いし、棧敷階段など細部にわたり点検を行いました。

会計報告を簡単にしますと、広告看板料や座席券の収入から、経費（踊り連約30連などへのお礼）を差し引き、約40万円の収益がありました。

2008年には、ちょっとしたハプニングがありました。

8月16日午後7時、開演の花火と同時に踊りが開始され、鉦（かね）や締め太鼓、三味線の鳴り物が響きわたり、「やっとなー」の掛け声が飛び交い、踊りが最高潮に達し、満席（約800

席）の棧敷席からも拍手が出て、つぎつぎと演舞場に踊り連が姿を現したそのとき、大きい雷鳴と共に夕立がやってきました。

幸いにも、夕立の時間は15分ほどで止み大きな混乱にならず、阿波踊りは無事終了しました。

このほかの奉仕活動として、中・高校生も参加する、国道のクリーンアップロードや、黒沢（くろぞう）湿原の鷺草植え付け作業を山間部の生徒といっしょに行っております。

今後も、地域の人々と共に一体となって、阿波踊りの発展と地域の活性化に役立てていきたいと、会員一同がんばっていくことを申し合わせております。



1R-1Z

松山小中学生相撲大会

松山東ライオンズクラブ 会長 綿貫 元一



7月6日(日)、県立総合運動公園にて第17回松山小・中学生相撲大会が行われました。当日は最高気温が32・8度という暑さの中、出場選手の戦いはさらに熱いものとなりました。大きい選手にぶるんと振り回されてもまわしを離さない小さい選手、相手の投げを土俵際でくるとかわして大逆転の選手、全ての試合に思わず引きこまれ、歓声も自然と大きくなりました。大会を終えた選手たちの表情は非常にすがすがしく、勝った選手も負けた選手も、大会を通じてかけがえ

のない大切なものを得ることができたのではないかと思います。

成績

団体の部

小学生優勝…生石Aチーム

中学生優勝…春日館チーム

個人の部

個人の部は、多数のため、省略



1R-1Z

『ダメ・ゼッタイ』普及運動街頭パレード参加

松山つばきライオンズクラブ
青少年・LCIF・市民奉仕・児童奉仕委員会 渡部 玲子

麻薬・覚せい剤等薬物乱用が深刻な社会問題となっていることに鑑み、引き続き本年も国連薬物乱用根絶宣言(1998年(2008年)の支援事業の一環として、ダメ・ゼッタイ普及街頭パレードを実施し、県民一人一人の認識を高め、併せて薬物乱用防止に資することを目的とする愛媛県薬物乱用防止指導員、松山保健所地区協議会の共催により平成20年7月18日(金)に大街道番町より湊町銀天街を通り市駅口まで、警察音楽隊を先頭に通行人に啓発資料を配布し、薬物乱用防止を呼びかけるとともに国際麻薬乱用防止を呼びかける国際麻薬乱用撲滅デーの普及を行った。松山市大街道三丁目のイコテツ会館であった出発式で、市内5高校の生徒80人を「一日薬物乱用防止指導員」に嘱託。松山工高三年の森雄介君が「運動を通じて同年代の人たちに薬物の正しい知識、断る強い勇気を伝えたい」と宣言した。参加数460名



松山市中心部大街道にての街頭パレード

業協会、県民生児童委員協議会、少年警察ボランティア協会」と共に私達松山つばきライオンズクラブの会員も、その中に参加し、例年の如く新年度を飾る有意義なアクティビティを行うことができました。

皆様ご協力ありがとうございました。

松山つばきライオンズクラブ

参加人数 24名

奉仕時間 47時間

クラブ内募金活動 46,452円



2R-4Z

大野靖之学校ライブ

西条石鎚ライオンズクラブ

教育・市民委員長

佐藤 正輝

われわれ西条石鎚ライオンズクラブでは、青少年健全育成の一助となることを目指して、例年、西条市内小学校のスポンサーとして国際平和ボスターコンテストへの参加、市内9中学校の参加による西条石鎚ライオンズカップサッカー大会の開催等を実施しておりますが、今年の我クラブのキーワード「平和」「健康」「G.O.O.D」の理念の下に、子供から大人へ成長するにあたり心揺らぐ最も多感な中学生に向け、家族の大切さや命の大切さを投げかけるために中学校での学校ライブを企画致しました。

企画したライブは、NHK教育の「二期一会」で「歌う道徳講師」として紹介されたシンガーソングライター大野靖之さんによる学校ライブ（タイトル「代わりなんてどこにもないんだよ」で、世界でたった一人の、大切な愛しいのち」で、西条東中学校と西条北中学校の2校において、2年生を対象とした「少年式」の記念行事として2月3日に開催され、生徒、先生、及び保護者の評判も良く成功裡に終了致しました。

シンガーソングライターをお招きし学校で歌ってもらうことについては初めてのことで、故、どのように進めたものかと思案致しましたが、インターネットによって検索し、大野靖之さんや紹介会社に関する情報を事前に収集致しました。一方、西条市教育委員会から「少年式」は2月4日に実施と聞きまして、紹介会社を通じて、その前後で日程調整をお願い致しました。大野さんが非常に多忙とのことでも考えましたが、2月3日なら何とか可能との回答を得、それを持って教育委員会に本企画の趣旨を説明し、西条市2中学校でのライブ開催の許可及び後援を頂きました。その後、両中学校を訪問し、趣旨および内容説明をさせて頂きましたところ、両中学校共「少年式」をライブ開催日の2月3日に変更し、ジュニア調整や開催場所の準備等細部に至るまでご協力を賜りました。このことは大変有難いことでありました。

さて、開催当日は最も寒い時期の上、生憎雨となりましたが、両校とも午前9時10時に「少年式」を終了し、東中学校は午前、北中学校は午後、多数のメンバーの協力の下、大野靖之学校ライブを開



共感と呼んだ「少年式」での大野靖之学校ライブ

催致しました。東中学校では全校生徒とその保護者、先生方で約500人、また、北中学校では1、2年生とその保護者、先生方で600人程が参加下さり、予想以上の盛り上がりを見せました。

大野靖之さんは、ライブでは、ご自身作詞作曲の歌を素晴らしい声で歌いながらギターまたはピアノで演奏され、作曲を始めたきっかけや高校生のときホスピスの闘病の後遺で亡くなられたお母様が、家族思いであったことを語り、どのような場合においても自分を信じてくれている家族の大切さを訴え、何かと問いかけながら夢を持ち続けることの重要さを楽しく教えられるました。中学生になると自分の夢を話さなくなるが、誰しも夢をもっているはずなのでその夢に向かって自分を信じて生きていこうとの投げかけをされました。

ライブ終了後、両校の先生から子供達の印象が大変良かったとお聞きし、本ライブで大野靖之さんが投げかけられた「家族の大切さ、生き続けることの大切さ、夢を持ち続けることの大切さ」が、多感な時期にある中学生の心に少しでも届いたものと思っております。

国際障害者年記念事業として発足致しました視覚障害者一日のつどいは1979年から30年間継続いたしておりますアクトイビティであります。

2008年9月30日雨の中 視覚障害者協会・ボランティア・伊予三島ライオンズクラブ（14名）で総勢36名が参加しました。

八幡浜の谷本蒲鉾店で竹輪とじゃこ天作り体験をし美味しく食しました。その後、ホテルへ移動して30周年式典を執り行いました。

式典においては、篠原勇治会長からの挨拶を手始めに、伊予三島ライオンズクラブから視覚障害者協会への助成金の贈呈、及び、優良ボランティアの表彰・記念品の贈呈があり、視覚障害者協会から伊予三島ライオンズクラ

2R-3Z

視覚障害者一日のつどい

伊予三島ライオンズクラブ

社会福祉委員長

小笠原 宣紀

ブへ感謝状・記念品の贈呈などがありました。

その後の宴会ではカラオケで盛り上がりしました。その模様がコスモステレビで放送されました。



30周年式典会場で記念撮影

3R-2Z

『第5回魚の絵コンテスト』

八幡浜みなとライオンズクラブ
教育・Y・E・保健奉仕委員長

兵頭 和幸

この委員会のメイン事業である「魚の絵コンテスト」は、子供達が絵画展に参加することによって郷土の産業を知り、豊かな人間形成に大きく寄与することを目的としています。本年度で早くも5回目を迎えました。

応募は夏休みの作品としている為、準備作業等は就任前からスタートしなければならず、年度初めが一番忙しい委員会となっています。早速、教育委員会へ出向き、後援・共催依頼や会場の確保等を行い、校長会に出席し各学校に作品募集のお願いを致しました。

各学校のご協力によって応募作品は915点あり、審査には例年通り元教諭の浅野・門田・二宮先生の3人をお願い致しました。

作品は色々な切り口から捉えられ、子供達の個性豊かな表現で仕上げている様子を覗く事ができ、審査員の先生方も審査にはご苦労されている様子が伺えました。

展示には多数の人手が必要で、メンバー全員に声かけし、事前に台紙に貼った作品を押しピンでパネルに貼っていく作業は、親指が動かなくなる程の重労働で、1時から始めた作業は5時

間を費やしました。幸いなことにクラブメンバーに設計士や建築士がいて、図面設計や墨だしをしてくれたお蔭で作業はスムーズに進めることができました。

展示期間最終日には表彰式を行い、受賞者の家族や友達等にも多数参加していただきました。展示会場であります図書館の市民ギャラリーは連日たくさんのお親子連れで賑わい、「魚の絵コンテスト」は無事終えることができました。



表彰式風景

3R-3Z

もちつき奉仕で楽しく交流 「児童福祉施設「みどり寮」にて」

宇和島中央ライオンズクラブ 会長 松田 直子

親元を離れて暮らす施設の子供達に、家庭でも最近は見られなくなった「杵と臼」を使用した「餅搗き」を体験してもらい、寮生みんなが力を合わせて搗いたお餅を食べて元氣にお正月を迎えてもらいたい」と企画した本事業は、今年で34回となり、去る12月13日に実施いたしました。

当日は早朝から二基の臼を囲みクラブ会員と子供たちが交代して搗きあげていききました。先輩の寮生が小さい子供のの手をとって一緒に搗いたり、搗きたてのお餅を小さく丸めたり和氣あいあいでした。途中から公務で忙しい中を石橋寛久市長さんも駆けつけられ、

スーツにエプロン姿で一緒に餅つきに参加して頂きました。贈呈式では市長さんに励ましの言葉を頂き、目録のメインの餅米と子供たちの大好きなみかん、お菓子、フルーツゼリーなどを贈呈しました。今年度は、寮生51名のうち就学前の子供が20名ほどあり、小さい子を労わる姿を見て心あたたまるも



のがありました。

当クラブは、餅搗きの外に、「いもたき大会」や「クリスマス会」にも参加しています。

みどり寮の子供たちの健やかな成長を楽しみにこれからもずっと見守って行きたいと思っております。



4R-3Z

コスモス栽培(花いっぱい運動)を取り組んで

志度ライオンズクラブ 会長 木村 政昭

当クラブのメインアクティビティの一つである『コスモスマツリ』は、今年で4回を数え、15年の秋から、さぬき市の市花であるコスモスを通じて『明るいまちづくり』『花いっぱい運動』の一翼を担おうとの心意気から始められた。

市内鴨部地区において、クラブ員らの提供する約2ヘクタール(少し離れて、さらに1ヘクタール)に及ぶ広大な収穫後の田圃にコスモスを栽培し、9月下旬から11月中旬までの1か月半ほどの期間、地域の人々や国道11号、農道を行きかう人々に観賞をしていただいた。地元では、犬を連れての散歩道の新しいコースともなったほどである。

特に昨年11月3日(月)に開催した『第4回コスモスマツリ』は、あいにくの雨模様で、参加状況が心配されたが、過去3回の実績や事前の口コミ、またNHK、市のケーブルTVを始めとするマスコミを通じたPRも功を奏し、お孫さん連れのご家族や、若いカップルなどで、用意した豚汁うどん(400食)や、どじょううどん(200食)は、ほぼ1時間で出尽くすという1,000名を超える来訪者で賑わい、楽しんでいただいた。

また、当イベントの目玉でもある『摘み取り自由』も相変わらず好評で、参加者は手に手にコスモスの花束を携えて家路に着かれた。

今回は、種まき時期から天候不順で、



一面に咲くコスモスの花

全体的に花は小振りであったが、①地域の方のご協力を得て、前回を上回る面積を確保できたこと、②後日、市役所ロビーにてコスモス写真展が開催できたこと、③近辺にコスモス栽培の輪が広がったこと、④周辺の草刈り等のアクティビティも実施したこと、⑤これを機に新しく大型テントを購入したこと等、これらの成果を積み重ね、次回に向けて、栽培規模の拡大、育成技術の向上に努力し、さらに大勢の皆さんに喜んでいただけるアクティビティとして発展させたいと念じている。

4R-2Z

庵治の道・恋の道(紫陽花ロード)

八栗ライオンズクラブ 青少年指導・環境保全委員会 委員長 木下 義統

紫陽花ロード これは県道36号線庵治半島を回る道。入口である牟礼町には世界の彫刻家イサム ノグチ氏のアトリエ、庵治町海岸沿いに入ると四国の最北端竹居観音寺・太鼓の鼻オートキャンプ場、もう少し先に行けばこの人も世界の彫刻家流 政之氏、赤レンガの屋敷があり、ハート(歯ト)館などもある。

四季を通し変化に富んだ海岸線。ここに清掃をと立ち上がり平成11年9月庵治半島クリーン作戦、不法投棄ゴミを撤去する。空き缶、粗大ゴミと2トンダンブに5、6台地域の子供さん父兄さん達とのゴミの仕分け作業をする。平成12年3月「香川さわやかロード」愛護団体に認定される。平成16年当時委員長であったL落合がそれでは花をと立ち上がり紫陽花の植樹に取りかかり70本、平成17年には80本、平成20年12月に120本。今では36号線3箇所延250mほどの植樹ができ、変化に富んだ片側一車線の道に先に植えた紫陽花は5、6月には美しい花を咲かしている。

又今回植えた紫陽花も2、3年もすれば花を見る事が出来るでしょう。車



を止める場所もあり、紫陽花を見る一時、紫陽花色の香り、恋の道としてふさわしい紫陽花ロード、ライオンズクラブメンバーのパワーはすばらしい団結の力。草もあれば笹根もある。それを刈り取り、耕して初めて植樹する事が出来る。1m間隔に植えて出来上がりこの道36号線も又次の委員長に引き継ぎ、庵治半島を花いっぱいにしたいものです。

5R-1Z

出前コンサート

丸亀京極ライオンズクラブ 幹事 太田 修

良い料理人や本物の味が解る人になれるか否かは、子供の頃の食生活で決まるそうです。それ程子供の頃の経験は大切なのです。音楽などの芸術も同じです。

『生の音楽を子供達に感じさせ、頭で難しいと考える前にクラシック音楽に親しませたい。』と言った活動をしているプロの音楽家と知り合い、我がクラブの誇れるアクティビティーを目指し「出前コンサート」を企画しました。

オペラ歌手は、日本はもとより世界で活躍しているテナー歌手の上原正敏氏、ピアノはプロの北村晶子氏にお願いしました。両氏とも快く賛同してくださり、去年から実施しています。丸亀市内の幼稚園、小学校、県立養護学校など、2年間で8校にてコンサートをしました。どの学校でも、子供達のピュアな感性がストレートに出ます。先生の歌声に感動して、「ブラボー」と叫ぶ子供、踊りだす子供が多いのには驚いています。音楽を生で、まして身近で聴くのは始めてのことでしょう。子供達の心の中に音楽が自然と溶け込んでいくようです。後日、子供



平成19年11月21日 聖母幼稚園にて（鬼のパンツを歌う）

達のお礼の絵手紙には「感動した：」「大きくなったら自分もあの様な音楽家になりたい：」などの気持ちがいっぱい出ていました。

この活動を通して子供達に音楽の力で何かを感じ取って貰い、活動の輪がもっと広がり、音楽や芸術を愛する子供達が増えていき、心豊かな社会が築かれていくって欲しい。また、このコンサートを聴く機会に恵まれた子供達の中から10年15年後に天才音楽家が誕生するかもしれません。これらが「出前コンサート」の目的です。

5R-2Z

ふるさとの川あそび

こんぴらライオンズクラブ 会長 岩倉 彰三

環境保全委員会の事業の一環として、我がクラブエリア内の小学生を対象に古里を流れる水質を生物の消息状況から調べる「ふるさとの川あそび」と銘打って実施。今年で、3年目になります。目的としては、児童が土器川の水生物を、チェックしながら環境問題への意識を高めてもらうのが目的です。児童たちは、網とバケツを手に入土器川に入り、調査を開始。石の下や水草の中に潜む生物を、見つけるたびに歓声



土器川での水生生物の捕獲

を上げ、捕獲。生物をじっくり観察し、水質の状態を示す目安になる「きれい」「少し汚い」「汚い」「大変汚い」の四段階の指標生物と比べながら、土器川の現状を学んだその後、琴南の改善センターで、メンバーの手造りによる、カレーを食べてもらい、お代わりも続出、大変、好評で、大なべもからっぽになりました。児童から喜ばれるアクティビティは今後も続けていこうと思っております。





6R-1Z

15年目を迎えるモンゴル留学生受け入れ事業

高知北ライオンズクラブ Y・E・国際協調委員長 西岡啓二郎



本事業で初めて受け入れをした留学生・サロルトグスさん（女性）は現在モンゴル国で日本大使

高知北ライオンズクラブで毎年行っているモンゴルからのかわいい子供たち受け入れは11歳から14歳を対象として行っています。早いものでもう15年になります。Y・E事業に該当しませんがそれに負けないぐらいの価値ある事業で他クラブから一定の評価やお褒めのことを頂いております。そもそものきっかけは当クラブの10周年記念事業として堀田昌一郎君（故人）がモンゴルの23番学校日本語教師 小路哲先生と知り合いで、留学生の受け入れを提案してくれたのが始まりでした。またモンゴルの天才少女（天使の歌声）といわれた「オユンナ」さんのステージをその時にあわせて行いました。そのオユンナさんも現在はママになり、モンゴルのストリートチルドレンを援助する為に自費で孤児院を作って活躍されています。

館に勤務しています。今年の10月25日に開催する「高知北ライオンズクラブ」の25周年記念大会に



左からノミンさん、ソヨルさん、サインザヤさん、ツェルメグさん

は在日本モンゴル大使をはじめ、サロルトグスさん、オユンナさん、モンゴル留学生の方々にもご出席いただきメンバー全員が交流を深め、再会できることを今から楽しみにしております。これまで留学してきた多くの子供達がモンゴルと日本の架け橋となつて頂けることを願っています。「日本に、特に、高知に良い思いを持って頂ける」ことを期待しています。

当事業も15年目を迎えるクラブ内では見なおしの話もありますが唯一「高知北ライオンズクラブ」としてははずせない国際親善事業になっています。私達が行っているほんのちっちゃな親善が、これからも日本とモンゴルを繋ぐ大きな架け橋となることを確信しています。

6R-1Z

公園にアンパンマンがいるよ

高知校ライオンズクラブ 会報委員長 松崎 淳子



ばいきんまんといっしょに

さて、三基の石のベンチ。贈呈式には、岡崎高知市長と地元の保育園児を招待。スッポリと布にくるまれた

今回は、結成十五周年で大型の奉仕や資金作り事業で活気と達成感に満ちています。その中で、なんとも楽しいメニューは——。アンパンマン、ばいきんまん、ドキンちゃんが一体ずつ腰掛けたベンチを、市民の憩いの公園「わんぱくこうち」に贈った事業です。マンガ大国高知。アンパンマン列車は走っているけど、境港のようなマンガロードはない——とこだわったのが、周年記念事業部会。昨春の就任からアンパンマン病にとりつかれて市村委員長ほか、知恵を搾り、奔走した。グッズも場所も難問だらけ。高知駅前広場よりはりまや橋も行政からはノー。グッズにはパテントがついて廻る——なのに、遂に正式ルートでやり上げました。石造りのベンチは北海道の業者が扱っていたのです。



岡崎高知市長と贈られた感謝状を山崎美恵子会長が抱いて、ハイポーズ

ベンチ。園児が紐を曳いて姿を現すまで中はヒ・ミ・ツ。いざ！「ワァーッ！アンパンマンだァー！」園児の歓声。はじける笑顔。渾身で歌うアンパンマンの歌。そして、ばいきんまんを抱く子。「パパにも教えちゃお」「チヨウエイぜよ」——この無垢な子どもたちを悲しませるような社会にしてはならない。それは私たちのつとめ。後日、市の職員からも「公園の名物です」と。やなせたかし翁の笑い声も聞こえてくるようです

7R-2Z

アクティビティの紹介

高知黒潮ライオンズクラブ 会長 高橋 吉久

高知黒潮ライオンズクラブの会長に就任して大半が過ぎ当クラブのアクティビティとしては7月の台湾からのY E生の受け入れをはじめ、福祉施設「天使園」のクリスマスパーティーも今回で5回目となりました。会長がサンタクロースに扮し素敵なプレゼントも用意し、園児とケーキ作りに挑戦、大変喜んで頂きました。福祉作業所昭光園への慰問では、会員と一緒に餅つきを楽しみ、つきたてのお餅を腹いっぱい頂きました。またAEDを贈呈し市長室で贈式を行い講習会も開催しました。各施設へのAEDの寄贈は今回で5台目です。県立盲学校の学生とのボウリング大会では、会場まで徒歩で誘導し、道中も会話が弾み楽しい一日となりました。矢野7R-RCより提案頂いた「リサイクル眼鏡」回収運動も、目標の200個以上を達成し、又新事業として、会員の高知県骨髄バンク推進協議会依光会長から提案頂いた、会員企業の社員に対して「ドナー休暇」を付与する宣言書も24社から頂きました。今後も県内外のクラブ、企業にも活動の輪を広げて行きたいと思います。また高知駅南口広場完成記念として、平和のシン

ボル「おがたまの木」を記念植樹致します。又ガバナール方針のCO2削減運動にも積極的に取り組み、会員のノー



カーデールや待機電力削減 白熱灯から蛍光灯への切り変える運動に対しライオン誌から取材を受け、記事として4月号に掲載されることになりました。藤本7R-PPR・ライオンズ情報・大会参加委員から提案頂き、会報誌によるクラブのPR活動を推進し、奉仕活動をメディアに積極的に働きかけた結果、NHKをはじめ民放各社、高知新聞で報道されました。47回東洋東南アジアフォーラムには11名参加し、LCIFも18名の会員に協力して頂きました。今後も社会に役立ち、地域の皆様に喜んで頂ける奉仕活動を推進していきたいと思います。

7R-2Z

広く一般の方にも読んで頂けるように

高知りょうまライオンズクラブ 会報委員長 山本 弘行

初めまして、高知りょうまライオンズクラブ会報委員長の山本と申します。この度、地区誌にて当クラブの会報誌を取り上げて頂けるということで、まずは当クラブの会報誌を紹介させて頂きます。

最初に、編集に当たっての目標がありまして、当クラブ会員及び他クラブ会員様に読んで頂くのはもちろんですが、広く一般の方にも読んで頂けるような内容の会報誌作りを目指しています。

会報誌の内容につきまして、表紙には毎月発行月の旬の花々を使用させて頂いています。花には「癒し・和み・優しさ」を心に与えてくれる力があるので、まずは会報誌を手にとって頂く為の必要不可欠な要素ではないかと思っています。

次ページからは、地域での奉仕活動や各委員会の取り組み等を写真や各委員さんのコメントを載せながら紹介しています。

次に、当会員のコラムを連載させて頂いています。

次号から会員紹介のコーナーを作ろうと思っています。

各会員にインタビュー形式で、仕事や趣味、ライオンズクラブについての

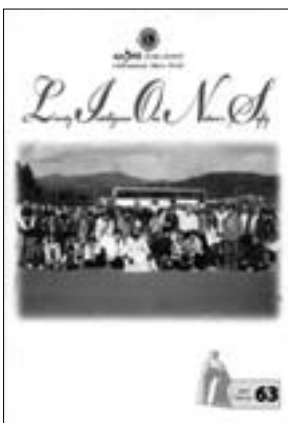
活動や抱負等のコメントを写真と共に載せていく予定です。

最後のページは、大人も子供も楽しそうな笑顔いっぱいの写真の載せるようにしています。

これらの紙面内容は基本的に一般の方に広く読んで頂き、どのような目的で、何処で、何をしているのかを知って頂く為のものです。

今更ながらの会員紹介も基本的な考え方は一緒に内部に対してではなく、外部に向けてのアピールとして考えています。

当ライオンズクラブにはこんな方達がいいますよ、こんな活動をしていますよ、クラブに対してこんな考え方をしています、等を知って頂ければ当クラブの大きな目標でもある、会員増強にも繋がるのではないかと思います。





8R-2Z

子どもフェスタ開催

土成ライオンズクラブ 幹事 湯浅 寛

今年で三回目になる「子どもフェスタ」は、七月三十日に行われた。

このフェスタの狙いは、少子高齢化や近隣間の希薄化などにともない、つながりやふれあいが少なくなっている中、世代を超えた人たちが「たくさん」の愛でつながるをテーマに開催された。

旧土成町を中心に、三十余りの団体が参加していたなかで、我が土成ライオンズクラブは、『水中ヨーヨー釣り』を実施した。

昨年の『焼き芋』にくらべて、少しは涼しさを感じたが、テントをはみ出したところは、身体にこたえる暑さであった。

『水中ヨーヨー』は、注射器のようなピストンに水と空気を吸いこませ、それらを風船に入れて膨らませてから、ゴムヒモでくくるのである。

こんな単純作業でも、初めは慣れず、



風船が裂けたり、空気が水が抜けたり、失敗もあったが、中学生のお



手伝いもあり、三百個がなくなるころには、どのメンバーも上手になっていた。『水中ヨーヨー』は、無料だったので、父母や祖父母に手を引かれた子どもたちも、うれしそうに釣って持ち帰っていた。「ありがとう」のことが、さわやかに聞こえた日でもあった。後日、阿波高校生ボランティアグループ「ポケット」会長の福井彩乃さんと、土成中央幼稚園から、ていねいなお礼状が届いた。

8 R-2Z

国際協調
「カンボジア子供支援」

徳島吉野川ライオンズクラブ 会長 大井 倫夫

2008年 10月19日徳島市内織維団地日曜朝市において徳島吉野川ライオンズクラブは国際協調「カンボジア子供支援」チャリティバザー並びに募金アクティビティを行いました。

当クラブのカンボジア支援は2004年から始まりカンボジアコンポントム州パライ区トリアル小・中・高校に図書、文具、黒板、スポーツ用品等の寄贈を5年間続けています。昨今カンボジアへの支援は増えてきておりますが、家畜の世話や農作業の手伝いなどで学校へ通えない子供もまだまだ多く、特に教科書、図書、文房具などは慢性的に不足をしています。

今回のチャリティバザー、募金活動は会員から提供してもらった衣類・日用品を販売しました。

前日の値札つけから始まり当日の販売と女性会員の大活躍があり、朝7時からバザーを始めましたがすぐに朝市に來ていた多くのお客様であふれ9時過ぎには大方の商品が売れ、11時には終了という大盛況ぶりでした。

お陰様で総額10万円を超えるチャリティとなり、以前より集めさせていただいた募金と合わせ総額20万円の寄



付を、これまで当クラブと一緒に支援活動をしてきたボランティアサークル「アプサラ」の代表鈴木氏にお渡しをいたしました。早速、鈴木氏は11月にカンボジアに渡り、2008年1月にトリアル中・高校に「アプサラ」が建てた「武仁図書館」の蔵書購入にお使いになったと活動報告を受けております。ご協力を頂きましたすべての皆様に御礼申し上げます。

最後になりましたが。カンボジア支援の募金活動は現在も行っておりますので徳島吉野川ライオンズクラブのほうへお問い合わせ、ご協力をお願いいたします。

8R-1Z

四国初のわんわんパトロール隊を設立

徳島ライオンズクラブ 前会長 清水 秀章

最近の子どもを取り巻く治安情勢は、子どもの拉致殺害、連れ去り、悪戯が多発しており、さらにこれの前兆事案にいたっては、徳島においても毎日のように発生している。

このような中であって、子どもの安全を守るには、できるだけ多くの人による見回り活動が必要である。

多くの人の活動参加を得るには、実施してくれる人の負担にならず、しかも毎日確実に実施してもらえるものが必要ではない。

犬の散歩は、毎日確実に行われる。この散歩のとき、少し子ども見回りのために、目線を向けてもらえばそれだけでいい。これがわんわんパトロールであり、これを組織したものが「わんわんパトロール隊」である。

当クラブは、賛同者の募集など大変



7月14日発隊式

な労力と月日をかけ、徳島県防犯協力の指定を受け県警察、市教育委員会の後援など全面的なバックアップを得て、四国初の



パトロール

同パトロール隊を、徳島市立富田小学校において設立、平成20年7月14日、同校において愛犬家と愛犬を中心とした隊員四十人、来賓として徳島市教育長様など八十三人が出席し、発隊式を行った。

この発隊式はNHK、JRTなどのテレビで前日の予告、当日のニュースなどで大きく報道された。

また新聞にも、全国紙（徳島版）や地方紙にも掲載され、子どもの安全の確保と、徳島ライオンズクラブの活動が大きく評価された。

8R-2Z

子どもと高齢者の交通事故防止キャンペーン

徳島中央ライオンズクラブ 会長 関 勝美

十一月二十二日（土）、午後一時より信号餅つくりを事務所で行った。



このフェアの参加者に配布するため、徳島東交通安全協会からもボランティアで参加いただき、八百バック（三個入り）作った。

当日は、荒瀬孝之・元ガバナー、表原俊之8Rリジョンチェアパーソン、清水三枝8RPPR・ライオンズ情報・大会参加委員にご出席をいただき、午前十時より開会式を実施。

関会長が、「当クラブの最大の事業である、とくしま交通安全フェア2008」を開催することができました。徳島東警察署、徳島東交通安全協会、徳島市のご協力を感謝するとともに、われわれの事業が子どもと高齢者の交通事故防止に、少しでも役立つことを願っております。」と、開会の挨拶をした。

ご来賓を代表して、荒瀬様より「徳

島中央ライオンズクラブの事業として、今年も多くの関係者のご協力を得て、交通安全フェアが開催されることは、まことに喜ばしいことであり、その成果に大きな期待を寄せております」と、ご祝辞をいただいた。

徳島東警察署の稲井交通官からは、「県内の交通事故による死傷者は減少していますが、ゼロではありません。特に、高齢者の死亡事故は少なくありませんので、これからの交通事故防止に取り組んでいきます」と、挨拶された。





今治中央ライオンズクラブ (2R-2Z)

結成45周年事業報告

会長 村上巳紀男

今治中央ライオンズクラブは結成45周年を迎え「原点」をテーマに2008年10月13日に記念事業、11月15日に記念ゴルフ、そして11月16日に記念式典をそれぞれ開催いたしました。

記念事業といたしまして、今治市内の小学生と保護者に呼び掛け「明日のエネルギーを考える教室」を開催いたしました。これは

青少年の健全育成と環境問題に取り組む科学実験教室でした。当日は今治市内約100名の小学生に、光電池(ソーラー)と乾電池の二つの動力源を持ったハイブリッド模型自動車を作製してもらい、科学への興味とエネルギー問題、そして地球環境問題を保護者と一緒になって考えてもらうことを目的といたしました。丁度このころ日本人の科学者4名がノーベル賞を受賞したとの快挙の報が伝わっていた時期であり「ノーベル賞を目指せ」とばかりに熱心に取り組んでもらい、南海放送、NHKのニュース番組にも取り上げていただきました。

11月15日のゴルフ大会、16日の記念式典はともに当初予定しておりましたよりも多くの皆様方にご登録をいただき、楽しく盛大に行うことができました。とりわけ16日の式典には三谷智省地区名誉顧問会議長、武久一郎副地区ガバナーをはじめブラザークラブの皆様方にご参加いただき、我がクラブのチャーターメンバー村上正郎さんの「記念講演」も大変に好評を博しました。そして我がクラブが育成資金を贈呈させていただいている今治青少年少女合唱団の童謡唱歌から始まった祝宴も、大変に和やかな雰囲気の中に「また会う日まで」十分にお楽しみいただけたものと思っております。

ご協力をいただきました本当にたくさんの方々的心より感謝を申し上げます。ご報告とさせていただきます。



多度津ライオンズクラブ (5R-2Z)

多度津LCチャーターナイト45周年記念
交流会をふり返って

チャーターナイト45周年実行委員長 三宅 義文

多度津LCチャーターナイト45周年記念交流会が2008年11月26日にとり行われました。地区ガバナーをはじめスポンサークラブや近隣各クラブの方々、更に姉妹クラブ(基隆第一・鹿追・砺波)の各位の御臨席のもと和やかな記念交流会となりました。御多忙の中、遠路をご参加いただきました皆様深く感謝し厚く御礼を申し上げます。

バブル崩壊以来、日本経済の低迷は長きにわたっていましたが、ここに来てアメリカ経済の破綻に始まる世界的大恐慌は未だに立ち直りの兆しすら見出せず混沌の度を深めて居ます。この様な状況の中で我クラブの45周年記念事業を行うに当り、式典の規模を縮小することはやむを得ずとしても奉仕と交友の面では更なる拡大をめざす事を目的にして来しました。式典に要する時間を切り詰めて交友交流に振り向けることや記念誌をCD化する事などの工夫を試みました。その結果周年事業としてのアクティビティも内容意義共に満足できるものであったと自負して居ます。又交友・交流の面でも所期の目的は十分達成出来たと思っております。然し残念なこともありました。会場の都合

もあったのですが、お招きする他クラブの方々の人数を制限せざるを得なかったこと、又経費節減の為に行った記念誌CD化でこの作業の担当者大変なご苦労を強いることとなつてしまった事などでした。

この45周年記念交流会にご参加頂き、会を盛り上げて下さった各位に感謝致します。



観音寺中央ライオンズクラブ（5 R－2 Z）

一致団結で創立15周年記念式典を終えて

創立15周年記念式典大会委員長 松岡 良隆

2009年2月1日（日）観音寺グランドホテルに於いて、観音寺中央ライオンズクラブ創立15周年記念式典が開催されました。式典には一般御来賓の皆様方を始め、山地章靖地区ガバナーようする坂出キャビネット役員、姉妹提携クラブの湯原ライオンズクラブ、5 Rブラザーズクラブより多数の御臨席を賜り誠にありがとうございました。

1993年観音寺ライオンズクラブのスポンサーにより結成され15年の節目となるこの間、地域社会に密着した奉仕活動を進め、特に地域保育所幼稚園の園児達との「さつま芋づくり」は、毎年継続的に進めてまいりました。

式典は、地元香川県立観音寺第一高等学校吹奏楽部の演奏による歓迎のファンファールで始まり「君が代」「ライオンズ・ヒム」を斉唱、出席された皆様方から大拍手を頂きました。

記念事業では、クラブの一方的な自己満足にならない様にと、観音寺市13校・三豊市3校の小学校へ喜んで学習に使って頂ける学校希望の品で、児童図書、運動用具、楽器、電気製品など多種類贈呈し大変喜んでいただきました。

式典後、祝宴の間には大澤宣晃氏ピアノコンサートで、くつろぎ心を癒して頂いた後、祝宴がはじまり粗酒粗肴ではございますがメンバーの交流で大いに盛り上がりしました。

閉宴には、大澤宣晃氏ピアノ演奏により「また会う日まで」斉唱の後、キャビネット石井淑雄幹事の発声により気持ち新たに力強いライオンズ・ローアで無事閉会致しました。

これを契機としてさらなる飛躍を目指し、会長スローガン「一致団結ウイ・サーブ」で頑張りたいと思います。今後とも温かく見守って頂きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



クラブ功労者の表彰

小豆島ライオンズクラブ（4 R－1 Z）

45周年記念例会

会長 上川 正衛

小豆島ライオンズクラブは1964年2月11日に高松ライオンズクラブのスポンサーによりまして日本で714番目、香川県で9番目に結成された歴史あるライオンズクラブです。まさにその時の社会の課題に正面から取り組み、地域の文化福祉の向上に努めてきた歴史があり、諸先輩方の長年にわたる献身的な奉仕活動と輝かしい功績が光っております。

45周年を迎え、通常であれば記念式典を開催し、諸先輩の築いてこられた偉業をたたえるべきでしょうが、昨今の経済事情、社会情勢を皆で考えた結果、今回は記念式典に代わる記念例会の形式で、45周年を迎えた慶びを分かち合おうということになりました。形は変わろうとも将来への発展とライオンズの高揚を再認識することに何ら変わりないと思っております。

記念例会は、小豆島東ライオンズクラブとの合同例会も合わせた形式で開催いたしました。山地地区ガバナーをはじめ、キャビネットの皆様方、また七條RC、田村ZC、1Zブラザーズクラブの皆様方、姉妹縁組19年目を迎えます若杉福岡ライオンズクラブの皆様にもご出席いただきまして、盛大なうちに開催することができました。

私が入会させていただいた時には、会員数65名でした。それが現在40名になっております。しかも入会時には全員が正会員だったと思います。今は正会員36名です。小豆島ライオンズクラブが結成された昭和39年といえば、日本が高度成長期に入ろうかという時代でした。島にも人口約5万人を数えた時代でした。あれから、まさに激動の時代が流れ、昭和から平成へと時代は移り、そして今、少子高齢化に象徴されるとおり、日本の社会状況は大きく様変わりいたしました。しかし、どのような時代がこようと、小豆島ライオンズクラブは地域に根ざした奉仕活動が続け、地域の人々に今以上認められるボランティア団体として歩まなければならないと感じつつ、無事に記念例会を終えることが出来ましたことを、心より感謝しつつご報告いたします。





松山ホストライオンズクラブ (1R-1Z)

55周年記念例会

第一副会長 丸山 俊明

松山ホストライオンズクラブは結成55周年を迎え、去る2月12日(木)に松山市の萬翠荘(愛媛県美術館分館)において55周年記念例会を開催しました。当日は好天に恵まれ地区ガバナーの山地章靖氏をはじめキャビネット関係者および我がクラブのスポンサークラブ、神戸(ホスト)ライオンズクラブからは会長塚本晴之氏など多くの方々の臨席を賜り17時より記念例会を開会いたしました。例会では長年にわたりアクティビティに協力していただいた興居島中学校、ボランティアグループ「リーダー会」、愛媛大学の白松准教授などに感謝状と目録を贈呈いたしました。さらに長年クラブに在籍した8人の会員にも表彰を行いました。クラブ会員からは55年の歩みと結成時の会場「萬翠荘での思い出」を語っていただき、記念例会を終了致しました。

場所を国際ホテル松山に移し、祝宴は岡会長による挨拶の後、元地区ガバナー名誉顧問 宮内浩四郎様に乾杯の御発声をいただき開宴となりました。時間が経つにつれ宴も盛り上がり、あちらこちらのテーブルでは昔話などを懐かしく語る会員同士の輪ができ、また新たに始まる60周年に向けての抱負などが話し合われ和やかな会となりました。20時、元地区ガバナー名誉顧問 宮内政三様のローアで閉めていただき散会となりました。

最後になりましたがご出席頂きましたガバナーをはじめご来賓の方々、スポンサークラブの皆様方に、心より感謝申し上げます。



第55回336-A地区年次大会 会場案内図

2009. 4. 11(sat) 12(sun) 場所: 坂出グランドホテル・坂出市立体育館

会場周辺地図



- | | |
|---------------------|------------------|
| A. 坂出グランドホテル及び東側駐車場 | D. オイルミルズ臨時駐車場 |
| B. 温泉施設さらい駐車場 | E. 鎌田醤油臨時駐車場 |
| C. 地方卸売市場臨時駐車場 | F. 日本ファインケム臨時駐車場 |

会場案内

代議員大会……坂出グランドホテル
年次大会……坂出市体育館

- ・高速道路利用車両は坂出インターで降りてください。坂出北インターでは降りられません。
- ・代議員用駐車場は坂出グランドホテル駐車場①、温泉施設さらい駐車場②をご利用下さい。
- ・式典参加者の駐車場はJオイルミルズ③、鎌田醤油④、日本ファインケム駐車場⑤をご利用下さい。(5リジョンの参加者はJオイルミルズ③をご利用下さい。)
- ・貸切バス(マイクロバス含む)は地方卸売市場⑥に駐車して、徒歩で会場へお越し下さい。(体育館周辺での乗り降りをご遠慮下さい。)
- ・駐車場は全て禁煙です。
- ・市立体育館前の道路は狭い為、南行一方通行でお願いします。

特産品にまつわる特集 愛媛

三崎の清見

きよみ

3R-RC

平家 健次郎
(保内ライオンズクラブ)

清見

清見は、日本の宮川早生とアメリカのトロピタオレンジを交配して誕生した柑橘で、今日人気を博している不知火（デコボン）や、はるみ、せとかといった海外の柑橘の風味が入った品種の先駆けとして、これらの親にもなった日本の柑橘史に残る記念すべき品種です。また、果実は、果汁が豊富でとろけるようなまろやかな味で春のジュースとなっていて親しまれ県の特産品となっています。清見は、2月頃まで樹上で完熟させてから収穫をして3月頃から全国各地に届けられ、主はカットフルーツとして切って召し上がって頂いています。愛媛県は、清見の生産量では全国のおよそ40%のシェアを誇っています。その中でも、特に生産量が

多いのが愛媛県の西南部、日本一細長い半島の先端に位置している西宇和郡伊方町三崎地区は、いち早く清見の産地化に取り組み日本で有数の清見の産地となり、今では「三崎の清見」として全国的なブランドになっています。清見の品種登録上の正式名称は「清見」ですが、販売される時には様々な呼び方があり「清見タンゴール」や「清見オレンジ」などがあります。タンゴール（tangor）とは、果皮の赤いみかん類を指す tangerine と、スイートオレンジ類を指す orange の合成語で、両種の雑種を意味する柑橘分類上の用語とされ、「○○みかん」や「○○オレンジ」と同じような感じで「清見タンゴール」という愛称がつけられ、歴史を重ねるうちに今多くの方々に定着しています。また、「清見オレンジ」はオレンジの風味を

偉大なる母

「清見」の誕生

持つ特徴をわかりやすく宣伝するため使用して販売している例もあります。

さて、先に述べたとおり清見は日本の柑橘史に残る品種とされており、現在も様々な新品種の育成には欠かせない存在とな

っています。

ここで清見を親として育成された新品種を紹介したいと思います。

(表1参照)

清見が偉



大なる母として欠かせない存在となったのには、柑橘ではなかなか見られない「単胚性」という性質をもっていたからなのです。

通常農作物で新品種を誕生させるには、母親とは違う品種の花粉を受粉させてやります。これを交配といい、その結果得られた果実は両品種の交雑種となり、親とは違う性質をもちます。ところが、柑橘では、これがなかなかうまくいかないのです。もちろん受精すれば交雑した胚を形成しますが、これとは別に「珠心胚」（しゅしんはい）と呼ばれる受精なしで形成される胚をいくつも作り上げる性質があるのです。これを「多胚性」といいます。珠心胚には父親の血は全く入っていませんから、珠心胚から出た芽は母親と同じ品質になってしまいます。珠心胚は、多い品種で50前後できる上に1つしか





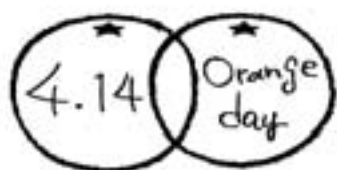
表1

品 種 名	母 親	父 親
不知火(デコボン)	清見	ボンカン中野3号
はるみ	清見	ボンカンF-2432
天 草	清見×興津早生 No.14※	ページ
せとか	清見×アンコール NO.2※	マーコット

※ 育種では両親を標記するときは、母親×父親の順に記すのが通例です。
天草・せとかの母親は清見の子で、品種改良用に作られた名のない品種
です。天草・せとかにとって清見は母方の祖母にあたります。

い交雑胚の生育を抑制してしまします。つまり、多胚性品種を母親に使うと圧倒的に失敗してしまう可能性が高いのです。一方、単胚性品種から出た芽は確実に交雑種となります。このため、交配による新品種育成には、母親に多胚性の品種は使わないのが常識とされています。しかしながら、単胚性の品種は少なく、実際に交配に使える品種は数えるほどしかありません。そのような中で、温州みかんの血を引く清見の誕生は、みかんの良さを受け継いだ新品種を開発する上で、非常に大きな

「4月14日 オレンジデー」をご存じですか？「オレンジデー」は、2月14日「バレンタインデー」、3月14日「ホワイトデー」に続くカップルの記念日で、お互いの愛情を確認する日とされています。平成6年に愛媛県内の柑橘生産者がみかんなどに関心を高めてもらおうと考案しました。なぜ、オレンジなのかと疑問を持つ方は多くいますが、オレンジには結婚と非常に深い関



愛媛発ふたりでみなど。
4月14日は愛媛発の「オレンジデー」です。

オレンジデーのマーク

Profile

へい け けん じ ろう
平家健次郎

昭和6年4月11日生

自営業（果樹園経営）



【ライオンズ経歴】

1992年 入会

1995年～96年 第三副会長

1996年～97年 第二副会長

1997年～98年 第一副会長

1998年～99年 会長

2000年～01年 会員理事

2007年～08年 Z C

2008年～09年 R C

4月14日 オレンジデー

役割を期待されたわけですが。ちなみに、現在ではDNA鑑定などの高度な技術が発展し遺伝子の組み替えなど最新技術が導入されていますが、清見の誕生する時には、清見の母親が多胚性であったため得られた交雑種（新品種）は交配した数千本のうち、わずか数十本だったといわれています。清見は、想像もつかない苦労と時間を経て生まれた待望の品種であり、現在も多くの新品種開発の偉大なる母として活躍をしています。

係があります。樹にたくさん実がなることから「繁栄」や「多産」のシンボルとされ、花は清らかな白色をしており花言葉は「花嫁の心」「純潔」「寛大」とあります。また、みかんの花は愛媛県の花にもなっています。欧米の結婚式では、花嫁がオレンジの花を身に付けたりしますし、男性がオレンジの実を持ってプロポーズする習慣があるなどがあります。

4月14日の「オレンジデー」にあわせて「清らかに見つめ合って愛を確かめる」という思いを込めた句の「清見」を夫婦やカップル、親子、友達同士など大切な人へプレゼントしてみてもどうでしょうか。「愛媛発・ふたりで・みんなで 4月14日はオレンジデー」

参考資料

果樹試験場報告B第10号 カンキツ新品種「清見」について

「清見」は偉大な母 ―カンキツの良食味・高品質品種の育成―

松本亮司 農業及び園芸第72巻7号

「話題の柑橘100品種」（刷新版）

西宇和農業協同組合 三崎共選

ホームページ「清見タンゴール博物館」

<http://www.4.ocn.ne.jp/~misaki60/index.htm>

特別寄稿

四国の偉人 愛媛県

篠原朔太郎翁

(一八六五～一九五二)

2RIRC

宇高昭造

(川之江ライオンズクラブ)

四国中央市の工業出荷額は5・9千億円、その内4・8千億円は紙製品であり、日本第一の「紙の町」である。この小さな町から全国に紙製品が出荷されている。この製紙業の発展は多くの先人の素晴らしい業績に依るところが大きい。中でも特筆すべきはこの地域の紙を全国に広めた住治平翁、紙の品質改良と近代化を進めた篠原朔太郎翁である。

前に中国の漢の時代に発明され、飛鳥時代にその製法が日本に伝わり、平安時代には我国独特の「和紙」が誕生した。江戸時代になると多くの藩が専売品として紙の生産を奨励し、愛媛県では宇和島藩、吉田藩の泉貨紙、大洲藩の大洲半紙、西条藩の伊予奉書紙などが有名である。郷土史家の故森実善四郎さんの『紙と伊予』に、「宇摩地方（現四国中央市）の製紙は宝暦年間に（1750年頃）嶺南の奥地に隠れて誰かが紙を漉き始めたという伝承がある。」とあり、この地域の紙生産の歴史は比

較的浅い。明治時代になると新たに洋紙が加わり、現在紙の需要の急増とともに欧米技術の導入による近代工業としての製紙産業となっている。

篠原朔太郎はこ

の和紙と洋紙が競

合した明治時代に活躍した人物である。15歳のころお祭りのお小遣いに一円紙幣をもらった。朔太郎の生家も製紙業を営んでおり、その紙幣の「透かし」模様に興味をいだき、



篠原朔太郎翁

自分も漉いてみたいと考えたのが紙作り研究へのきっかけであったと言われている。二十七歳ころ、薦田篤平が経営する製紙場でソーダ、カルキを用いた薬品処理を実用化し、



金生川の堤に建つ「紙のまち資料館」と
入場口に立つ篠原朔太郎翁の銅像

処理が難しいとされていた三
椏原料を利用した「改良半紙」
を開発した。事務用、複写用
としての改良半紙は宇摩地域
の紙の代名詞となっていくの
であるが、事務用紙の需要の
増大とともに歴史の浅い当地

域の紙を有名にした。

明治二十年代、土佐（高知）の
吉井源太（1826～1908）
が機械化を進め、土佐の紙が
質と量において全国一位であ
った。第四回内国勸業博覧会
（1895）に朔太郎らが丹精
込めた紙を出品したが、土佐
の紙が一、二等を独占したの
に対して、三等がやっとなっ
た。この屈辱をバネに、技
術改良に努め、博覧会には努
めて出品して研鑽を積み重ね
た。
当時土佐が得意とした典具
帖紙（貴重品や美術品の包材）



篠原朔太郎が考案したビータ（模型）

は海外にも盛んに輸出され、
国外にもその名声が轟いてい
た。朔太郎は子供の頃に夢見
て蓄積していた透かし技術を
この典具帖紙に漉き込み、セ
ントルリス万国博覧会
（1904）に出品して、つ
いに一等金牌を獲得した。こ
の芸術品ともいえる作品は「紙
のまち資料館」に所蔵、展示
されている。

その後、大蔵省印刷局抄紙
部に招かれ最先端の製紙技術
を学び、洋紙製造用ビータ（叩
解機）の改良、和紙工場への

普及、スウェーデン製の長網
抄紙機の運転など、篠原朔太
郎翁は洋紙の生産技術を和紙
に融合して当地域独特の製紙
業近代化の礎を築いた。今日
「印紙と紙幣以外の紙なら何
でも揃う」と言われ、種類の
豊富さでも日本一である。

参考

愛媛県生涯学習センター学芸
委員 居村聡子
『和紙と篠原朔太郎』

Profile

う だか しょう ぞう
宇高 昭 造

1943年 8月24日生

泉製紙株式会社 社長



【ライオンズ経歴】

1988年11月 入会

1998年度 モナークシェブロン10年

2003～2004年 第一副会長

2004～2005年 会長

2005～2006年 336-A地区 PR・ライオ
ンズ情報委員長

2005年度 国際会長感謝状

2008～2009年 336-A地区 2R-RC

336-A 地区会員現況

(入退会は累計・2009年2月28日現在)

R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	2月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	2月末	R	Z	クラブ名	期首	入会	退会	2月末			
1	1	松山ホスト	49	0	0	49	4	1	高松	51	7	4	54	7	1	高知鷹城	56	2	6	52			
		久万	25	0	2	23			小豆島	43	1	4	40			室戸	31	1	1	31			
		松山東	44	3	4	43			小豆島東	28	0	1	27			高知鏡川	61	2	7	56			
		砥部	36	2	3	35			高松葵	34	1	5	30			高知南	33	0	0	33			
		松山つばき	49	1	0	50			高松南	33	0	0	33			高知よさこい	37	4	2	39			
		松山城山	39	3	3	39			高松愛	18	0	0	18			土佐国府	30	0	5	25			
		Z合計	242	9	12	239			Z合計	207	9	14	202			Z合計	248	9	21	236			
		松山道後	56	4	2	58			高松東	65	5	1	69			高知黒潮	73	2	4	71			
		伊予	52	2	2	52			高松西	33	1	3	31			高知桂	59	1	3	57			
		双海	13	0	13	0			直島	27	2	3	26			高知中央	41	3	3	41			
	2	松山西	48	2	2	48		八栗	36	0	1	35	高知安芸	32	1	0	33						
		松山前	21	0	0	21		高松源平	43	3	2	44	高知りょうま	37	0	2	35						
		松山北	37	4	2	39		高松中央	24	5	2	27	Z合計	242	7	12	237						
		松山湯築	30	9	2	37		Z合計	228	16	12	232	土佐山田	22	2	3	21						
		松山城東	30	3	5	28		東かがわ	40	1	4	37	土佐本山	19	3	1	21						
		Z合計	287	24	28	283		長尾	62	0	3	59	南国	40	4	8	36						
		北条	32	2	3	31		志度	58	5	2	61	土佐香南	32	3	0	35						
		松山中央	82	4	2	84		三木さぬき	41	3	5	39	大豊	11	2	1	12						
		松山南	39	5	5	39		高松グリーン	30	0	0	30	Z合計	124	14	13	125						
		東温	34	4	4	34		Z合計	231	9	14	226	R合計	614	30	46	598						
3	松山金亀	43	0	0	43	高松玉藻	50	9	5	54	徳島	28	1	1	28								
	松山白鷺	59	0	3	56	高松栗林	67	1	3	65	小松島	28	0	1	27								
	Z合計	289	15	17	287	高松屋島	51	5	5	51	徳島南	47	0	4	43								
	R合計	818	48	57	809	高松紫雲	58	3	2	59	徳島北	13	2	1	14								
	1	新居浜	64	6	5	65	高松空港	31	0	2	29	阿波勝浦	35	0	1	34							
		新居浜中央	45	1	2	44	高松北	24	4	2	26	徳島すだち	40	2	3	39							
		新居浜別子	36	4	2	38	Z合計	281	22	19	284	Z合計	191	5	11	185							
		新居浜ひうち	42	0	2	40	R合計	947	56	59	944	徳島中央	35	1	0	36							
		Z合計	187	11	11	187	丸亀	95	3	4	94	石井	23	2	3	22							
	2	1	今治	60	2	2	60	5	1	坂出	44	5	2	47	8	2	徳島城山	48	3	2	49		
今治中央			65	3	2	66	坂出白峰			52	4	2	54	上板			38	2	0	40			
今治東			64	2	3	63	綾歌郡			25	3	0	28	徳島吉野川			38	2	0	40			
今治くろしま			62	1	1	62	丸亀京極			58	0	4	54	土成			38	0	3	35			
今治サーチング			30	1	6	25	うたづ			46	2	2	46	Z合計			220	10	8	222			
2		Z合計	281	9	14	276	2		Z合計	320	17	14	323	3	阿南	57	2	8	51				
		伊予三島	41	2	3	40			観音寺	38	3	1	40		日和佐	26	1	1	26				
		川之江	51	2	3	50			善通寺	45	1	2	44		徳島東	36	0	0	36				
		伊予土居	44	1	2	43			多度津	40	1	0	41		徳島マリノピア	50	2	2	50				
		伊予三島法皇	39	2	1	40			三豊	58	1	2	57		阿南リパティ	31	0	3	28				
3		川之江中央	31	2	0	33	こんびら		42	1	0	43	Z合計	200	5	14	191						
		Z合計	206	9	9	206	観音寺中央		36	3	2	37	R合計	611	20	33	598						
		4	西条	56	1	1	56		3	Z合計	259	10	7	262	徳島眉山	37	1	1	37				
			東予	44	4	3	45			R合計	579	27	21	585	鳴門	61	0	0	61				
			伊予小松	16	1	1	16			高知	51	1	2	50	藍住	46	0	2	44				
西条石鎚	56		3	1	58	高知柏	71	2		2	71	板野	35	4	1	38							
3	1	Z合計	172	9	6	175	6	1	高知東	54	2	4	52	9	1	松茂徳島空港	25	0	1	24			
		R合計	846	38	40	844			高知北	34	2	1	35			鳴門西	24	0	0	24			
		2	大洲	47	10	8			49	2	高知桜	42	2			3	41	3	北島	53	6	5	54
			宇和	28	2	2			28		高知とさみずき	14	4			3	15		Z合計	281	11	10	282
			伊予長浜	19	1	2			18		Z合計	266	13			15	264		阿波池田	40	3	2	41
	内子		32	3	2	33		須崎	52		2	4	50	脇	36	3	1		38				
	野村		28	2	2	28		伊野	53		1	2	52	三加茂	20	2	3		19				
	2	Z合計	154	18	16	156		3	佐川越知	30	0	1	29	10	2	半田	26	2	0	28			
		八幡浜	42	2	0	44			中土佐	25	0	2	23			Z合計	122	10	6	126			
		三瓶	17	2	1	18			Z合計	191	3	10	184			徳島西	34	4	1	37			
		伊方	37	4	3	38			四万十	46	2	0	48			鴨島	38	0	5	33			
		保内	32	0	0	32			土佐清水	52	4	2	54			阿波	37	3	1	39			
		八幡浜みなと	52	1	4	49			宿毛	25	2	4	23			徳島国府	23	1	0	24			
		Z合計	180	9	8	181			窪川	29	3	7	25		神山	30	2	1	31				
		宇和島	33	1	1	33			大方	30	0	1	29		徳島藍	32	0	2	30				
		伊予吉田	31	2	2	31			大正	14	2	0	16		Z合計	194	10	10	194				
		宇和島中央	30	3	1	32			Z合計	196	13	14	195		R合計	597	31	26	602				
	3	南宇和	30	6	3	33		R合計	653	29	39	643	地区合計				6,179	322	359	6,142			
		鬼北	32	4	3	33																	
		津島	24	0	4	20																	
R合計		514	43	38	519																		



物 故 会 員

2009年1月31日現在（敬称略）

謹んでお悔やみ申し上げます

- ①氏名・享年
- ②LC 名
- ③入会年月日
- ④没年月日



①久米 一郎 (85歳)
②4 R-1 Z高松
③1959年10月28日
④2008年10月20日



①笹山 吾朗 (82歳)
②4 R-1 Z小豆島
③1966年8月18日
④2008年10月15日



①市川 敏一 (87歳)
②9 R-1 Z板野
③1991年11月21日
④2008年10月9日



①松下フミ子 (64歳)
②1 R-2 Z松山城東
③2007年3月28日
④2008年10月6日



①笹川 廣治 (68歳)
②8 R-3 Z阿南
③2005年5月
④2008年10月1日



①石川 智 (68歳)
②2 R-3 Z川之江
③1973年8月23日
④2008年11月25日



①梶原 忠弘 (84歳)
②1 R-2 Z双海
③1968年4月19日
④2008年11月20日



①林 雅子 (73歳)
②7 R-1 Z高知よさこい
③2003年3月30日
④2008年11月12日



①山上 和好 (77歳)
②4 R-1 Z小豆島
③1971年3月4日
④2008年11月10日



①谷村 直 (83歳)
②3 R-2 Z八幡浜みなと
③1974年10月31日
④2008年10月23日



①多賀 順一 (58歳)
②1 R-3 Z松山白鷺
③1992年3月
④2008年12月17日



①犬井 義明 (78歳)
②4 R-1 Z高松葵
③1973年3月22日
④2008年12月4日



①國澤 幸広 (45歳)
②7 R-2 Z高知黒潮
③2003年5月22日
④2008年12月4日



①藤田 勝志 (70歳)
②2 R-3 Z伊予土居
③1993年12月1日
④2008年11月27日

◆編集後記◆



山地ガバナーは、就任挨拶の中で、会員増強、環境問題を、強調しておられました。一昨年、米国でのサブプライム・ローン、昨年の、リーマン・ブラザーズの破綻による金融危機が、百年に一度ともいわれる、世界経済の同時不況を引き起こし、厳しい経済環境となり、会員増強も、厳しい時期となっています。会員一人ひとりが和の心で、環を大きく広げ、会員増強、退会防止に、全力を傾注されますようお願い致します。一方半世紀余、世界各国は、競って経済発展を目指し、長期にわたって、自然を犠牲にした森林の乱開発、急速な工業化を進めた結果、環境を破壊し地球の温暖化を招き、それが更に、自然環境の変化、破壊へと、負の連鎖を起こしています。その対策として、官、民レベルで、バイオ燃料、低公害車、風力発電、太陽熱利用等の普及にむけ、研究されています。併せて、長期的視野にたつての、自然環境の回復への取り組みが必要な時です。我々ライオンズ・クラブも、M J Fの基金を活用して、森林の回復、緑の大地を取り戻すべく努力、邁進するときではないでしょうか。我々は地球と共に生きています。我々は地球を愛し、地球を守り、地球に「ウィ・サーブ」

（地区誌委員長 宮本宗雄）

第21回

国際平和ポスター コンテスト

テーマ
「平和は自分から」

336-A地区 『最優秀賞』



最優秀賞
そ がわ ち ひろ
走川 智寛 さん
〈スポンサー:阿南ライオンズクラブ〉

■コメント

たくさんの方が平和に暮らせて、幸せになってほしい。そういう気持ちで描きました。世界中の人たちが手を取りあって、誰もが平和を願う心が世界の平和へとつながるのではないのでしょうか。

主催／ライオンズクラブ国際協会
ライオンズクラブ国際協会336-A地区キャビネット
スポンサークラブ／336-A地区各ライオンズクラブ



2008～2009年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 坂出キャビネット事務局

We Serve

〒762-0053 香川県坂出市西大浜北1-2-33 坂出グランドホテル南棟1F
TEL 0877-59-0081 FAX 0877-59-0390
E-mail : sakaide_c@lc336a.jp
URL : <http://www.lc336a.gr.jp/>